

三菱ルームエアコン 霧ヶ峰  
三菱ハウジングエアコン

'02

## システムコントロール 商品技術ガイドブック

1.システムコントロールの概要	2頁
2.システムコントロール適用表	4
3.集中コントローラ(4室用・6室用・8室用)	6
3.1概要	6
3.2製品仕様	6
3.3適用形名一覧表	6
4.M-NET制御を使用した集中・個別管理	7
4.1概要	7
4.2M-NETインターフェイス適用機種一覧表	9
4.3製品仕様	10
4.4ディップスイッチの設定	11
4.5接続要領	12
4.6室内ユニットへの取付け	16
4.7M-NET制御インターフェイスご使用上の注意事項	16
5.HAアダプタ MAC-815AD	17
5.1概要	17
5.2製品仕様	17
5.3HAアダプタの取付	18
5.4HAアダプタを使用した集中コントロール	18
5.5HAアダプタを使用した遠方コントロール	19
6.遠隔制御用インターフェイス MAC-374IF	21
6.1概要	21
6.2製品仕様	21
6.3遠隔制御用インターフェイスとエアコン機種の接続	22
6.4遠隔制御用インターフェイス本体の据付け	23
6.5遠隔制御用インターフェイスを使用した集中コントロール	24
6.6遠隔制御用インターフェイスを使用した遠方コントロール	25
6.7遠隔制御用インターフェイスを使用した元電源発停	32
6.8遠隔制御用インターフェイスを使用したHA・JEM-Aシステム	33
7.集中コントローラー用アダプタ MAC-835AD	34
7.1概要	34
7.2製品仕様	34
7.3集中コントローラー用アダプタの取付	35
7.4集中コントローラー用アダプタを使用した集中コントロール	36
7.5集中コントローラー用アダプタを使用した遠方コントロール	37
7.6集中コントローラー用アダプタを使用した元電源発停	39
8.HA端子短絡による元電源発停(遠隔制御インターフェイス・HAアダプタを使用しない元電源発停)	40
8.1概要	40
8.2方法	40
8.3動作	40
8.4お掃除モニター、フィルター交換ランプについてのご注意	41
9.ロスナイ運動	42
9.1概要	42
9.2対応機種	42
9.3接続方法	42
10.'02年度ワイヤレスリモコン機種の個別運転改造方法	43
10.1適用形名一覧表	43
10.2リモコン基板の改造	44
10.3室内制御基板の改造	51
10.4室内ユニット指定	51

本カタログ掲載商品の価格には、消費税・配送・設置調整費・パイプ・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。  
エアコンを廃棄する場合は家電リサイクル法に基づく収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料)が必要になります。

# システムコントロールの概要

## 1.システムコントロールの概要

こんなときに	システム	適用コントローラ	必要なインターフェイス	概要	制約事項	接続例	参照頁	
運転/停止を集中管理する。	集中管理	集中コントローラ MAC-820SC(4室) MAC-821SC(8室) MAC-822SC(6室)	機種により選択 MAC-815AD MAC-374F MAC-835AD	一括/個別の運転/停止ができます。 ワイヤレスリモコン使用可能	(注1)		6,18,24,36頁	
		M-NET制御マルチパネルコントローラ MJ-111AN(24室)	MAC-377F	一括/個別の運転/停止ができます。 注2	給電ユニットによりネットワークリモコンの接続台数が違います。 (注1)		7~16頁	
運転内容を集中管理する。	集中管理	M-NET制御集中コントローラ MJ-103MTR	MAC-377F	個別に運転/停止モード、設定温度、風速、風向、タイマー運転を制御できます。 注2	(注1) ルームエアコンの吐出温度が表示できません。 (注1) 緊急停止制御に対応できません。 (注1)		7~16頁	
		M-NET制御グループリモコン PAC-SC30GR	MAC-377F					
		M-NET制御システムリモコン PAC-SF41~43SC	MAC-377F					
無電圧a接点により運転/停止を行う。	遠方コントロール	接点(現地手配)	MAC-374F	遠方から運転/停止ができます。 ワイヤレスリモコン使用可能			25~28頁	
有電圧a接点により運転/停止を行う。		接点/電源(現地手配)	機種により選択 MAC-815AD MAC-374F MAC-835AD	遠方から運転/停止ができます。 ワイヤレスリモコン使用可能			19,20頁 29~31頁	
運転状態表示をする。		接点/電源(現地手配)	機種により選択 MAC-815AD MAC-374F MAC-835AD	遠方から運転/停止状態を表示することができます。 ワイヤレスリモコン使用可能	出力信号でリレーを駆動することはできません。			19,20頁 29,31頁
HA-JEM-Aシステム対応機器(テレコンなど)で制御する		テレコンローラなど	MAC-374F	<テレコンの場合> 遠方から電話で運転/停止を制御できます。 また、運転状態を確認できます。 ワイヤレスリモコン使用可能	使用するテレコンローラにより機能が異なります。使用するテレコンローラを確認の上、使用してください。※当社のテレコンローラは、他社製のテレコンローラをご使用ください。また、接続にはテレコンローラのメーカーで使用されている接続用アダプタ(エアコン用-HA-JEM-A対応)が必要になります。			33頁
ワイヤレスリモコン機種をワイヤード化する。	ワイヤードリモコン化	M-NET制御ネットワークリモコン PAR-F27ME	MAC-377F	ネットワークリモコンにより、運転モード、設定温度、風速、風向、タイマー運転を制御することができます。注2	エアコンに付属しているワイヤレスリモコンとの併用はしないでください。		7~16頁	
<前扉の再発ブレーカスイッチにより、運転/停止を行う。(ブレーカスイッチを切る前の運転状態になる。)>	元電源発停	なし	機種により選択 MAC-374F MAC-835AD	ブレーカスイッチの入切により、運転/停止を制御します。注2	マルチ室外機タイプは室内ユニットを個別に発停させることができません。 (対応不明)		32,39頁	
		なし	なし	なし	インターフェイスアダプタを使用せずに室内ユニットの4端子(JEM-A)を接続するだけで元電源発停を行います。 ワイヤレスリモコン使用可能			40頁
<強制的に運転開始> ブレーカスイッチにより、運転/停止を行う。(ブレーカスイッチを入れれば必ず運転する。)	なし	なし	MAC-374F	ブレーカスイッチの入切により、運転/停止を制御します。上記は遠方コントロール、無電圧a接点を設定し、CNE91の①の番を短絡することにより、ブレーカスイッチの入切により運転/停止を制御します。運転内容は事前に設定してください。ワイヤレスリモコン使用可能	マルチ室外機タイプは室内ユニットを個別に発停させることができません。 (対応不明)		25,26頁	

# システムコントロールの概要

こんなときに	システム	通用コントローラ	必要なインターフェイス	概要	制約事項	接続例	参照頁
エアコンの運転にロスナイを連動させる	ロスナイとの連動	なし	機種により選択 MAC-815AD MAC-374IF	エアコンとロスナイを連動することができます。 ワイヤレスリモコン使用可能	マイコン搭載タイプに限り対応可能です。 詳細を確認してください。 制御詳細はロスナイの技術資料を確認してください。		42頁
エアコンの運転にロスナイを連動させる		M-NET制御集中コントローラ MJ-103MTR	MAC-377IF	MELANS上でエアコンとロスナイを連動することができます。 注2	MELANSに対応しているか確認してください。 制御詳細はロスナイの技術資料を確認してください。		42頁
集中管理により、個別運転を制限する	手元操作禁止	M-NET制御集中コントローラ MJ-103MTR	MAC-377IF	集中コントローラで個別運転を制限することができます。 (制限 運転/停止 運転モード) 注2	手元禁止にしてから、運転制御(運転/停止、設定温度、風速、風速など)してください。 運転制御の変更を行う場合は、運転制御の変更から手元禁止までは3分以上の遅延時間をかけてください。3分以内に手元禁止にした場合、変更前の状態で手元禁止状態になる場合があります。		集中コントローラ (MJ-103MTR) に関する資料を参照ください。
外部信号により個別運転を制限する		コインタイマー M-NET制御ネットワークリモコン PAR-F27ME	MAC-377IF	遠方で個別運転を制限することができます。 (ONS40iに接続) (制限 運転/停止) ワイヤレスリモコン使用可能 注3	遠方発停用アダプタ (PAC-SES5RA)が必要 です。 ネットワークリモコンが必要 です。 (集中管理の場合は不要です。)		15頁
元電源の入/切により、個別運転を制限する。		コインタイマー	機種により選択 MAC-374IF MAC-835AD (なし)	ブレーカスイッチの入切により個別運転を制限することができます。 元電源発停を参考にしてください。 (制限 運転/停止) ワイヤレスリモコン使用可能	エアコンの電源電圧、電流容量の確認が必要です。		32,39頁
エアコンの異常を表示する。	異常検出	M-NET制御ネットワークリモコン PAR-F27ME	MAC-377IF	ネットワークリモコンに、エアコンの異常をコードで表示できます。 注2	エアコンの保護による停止は表示できません。故障による異常停止の場合、異常内容を表示します。		15頁

- MAC-815AD・・・HAアダプタ
- MAC-374IF・・・遠隔制御用インターフェイス
- MAC-377IF・・・M-NET制御インターフェイス
- MAC-835AD・・・集中コントローラ用アダプタ

注1・・・マルチ室外機の室内ユニットとして接続する場合に「接続対応不可」となる機種があります。  
システムコントロール適用表で対応をご確認ください。

注2・・・ワイヤレスリモコンとネットワークリモコンとの併用はしないでください。

注3・・・ワイヤレスリモコンとネットワークリモコンで表示が異なる場合があります。

# システムコントロール適用表

## 2.システムコントロール適用表

機種名	HA・JEM-A端子	集中制御時に必要なインターフェイス	遠方コントロール時に必要なインターフェイス			元電源発停する時に必要なインターフェイス	M-NET制御による個別・集中管理する時に必要なインターフェイス
			無電圧常時a接点	有電圧			
				常時a接点	瞬時接点		
MSZ-WX22J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-WX25J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-WX28J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-WX28JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-WX36J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-WX36JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-WX40JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-WX50JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-DX22J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-DX25J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-DX28J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-DX28JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-DX36J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-DX36JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-DX40JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-DX50JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-RX22J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-RX25J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-RX28J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-HX22J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-HX25J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-HX28J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-HX28JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-VX22J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX25J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX28J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX28JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX28JD	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX32J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX32JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX40JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX40JD	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX50JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VX50JD	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VS22J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VS25J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VS28J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VS28JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VS40JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-VS50JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-WXV22J	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-WXV25J	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-WXV28J	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-WXV28JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-WXV36J	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-WXV36JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-WXV40JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-WXV50JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-CX22J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-CX25J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-KS20J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-G22J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-G25J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-G28J	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-GXV22J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-GXV25J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-GXV28J	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-GXV28JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSZ-GXV36J	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-GXV36JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-GXV40JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-GXV50JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-LX45JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-LX56JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-LX63JS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	M-NET制御不可
MSZ-LXV45JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-LXV56JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可
MSZ-LXV63JS	本体標準装備	MAC-815AD	不可	MAC-815AD ※1	MAC-815AD	不要 ※2	M-NET制御不可

※1 室内制御基板中のジャンパー線JR17をカットしてください。  
 ※2 室内制御基板中のHA端子(JEM-A)の1番-2番ピンを短絡してください。

# システムコントロール適用表

機種名	HA・JEM-A端子	集中エントリ使用時に必要なインターフェイス	遠方コントロールする時に必要なインターフェイス			元電源発停する時に必要なインターフェイス	M-NET制御による個別・集中管理する時に必要なインターフェイス
			無電圧		有電圧		
			常時a接続点	常時b接続点	瞬時接続点		
MTZ-22GS-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-25GS-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-28GS-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-32GS-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-40GS-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-22GSX-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-25GSX-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-28GSX-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-32GSX-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-40GSX-1	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-RX28JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MLZ-RX32JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MLZ-RX40JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MLZ-RX50JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MLZ-GX28JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MLZ-GX32JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MLZ-GX40JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MLZ-GX50JS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSH-2237L	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSH-2837L	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MSH-20JBL	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MLZ-W40GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-W50GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-W56GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-377IF
MLZ-2817S-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-3217S-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-4017S-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-5017S-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-2804S-IN	本体標準装備	MAC-B15AD	MAC-374IF	MAC-B15AD ※1	MAC-B15AD	HA端子を短絡 ※1,3,4	MAC-377IF
MLZ-3204S-IN	本体標準装備	MAC-B15AD	MAC-374IF	MAC-B15AD ※1	MAC-B15AD	HA端子を短絡 ※1,3,4	MAC-377IF
MLZ-4004S-IN	本体標準装備	MAC-B15AD	MAC-374IF	MAC-B15AD ※1	MAC-B15AD	HA端子を短絡 ※1,3,4	MAC-377IF
MTZ-22GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-25GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-28GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-32GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-40GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MBZ-2814S-IN	本体標準装備	MAC-835AD ※5	不可	MAC-835AD ※5	MAC-835AD ※5	MAC-835AD ※3	MAC-377IF ※5
MBZ-3214S-IN	本体標準装備	MAC-835AD ※5	不可	MAC-835AD ※5	MAC-835AD ※5	MAC-835AD ※3	MAC-377IF ※5
MBZ-4014S-IN	本体標準装備	MAC-835AD ※5	不可	MAC-835AD ※5	MAC-835AD ※5	MAC-835AD ※3	MAC-377IF ※5
MSZ-DXV28GX-S	本体標準装備	MAC-B15AD	不可	MAC-B15AD ※1	MAC-B15AD	HA端子を短絡 ※3	M-NET制御不可
MSZ-DXV40GXSP	本体標準装備	MAC-B15AD	不可	MAC-B15AD ※1	MAC-B15AD	HA端子を短絡 ※3	M-NET制御不可
MSZ-WX25FXS	本体標準装備	MAC-B15AD	不可	MAC-B15AD ※1	MAC-B15AD	HA端子を短絡 ※3	M-NET制御不可
MSZ-WX40FXSP	本体標準装備	MAC-B15AD	不可	MAC-B15AD ※1	MAC-B15AD	HA端子を短絡 ※3	M-NET制御不可
MSZ-MX208X	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-MX208XP	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-MX228XS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-MX228XSP	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-MX258XS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-MX258XSP	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-MX288XSP	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-VX208X	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-VX228XS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-VX258XS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-VX288XS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-VX328XS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-VX408XS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-22FXS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-25FXS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-28FXS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-32FXS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-40FXS	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-22GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-25GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-28GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-32GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MTZ-40GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-22GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-25GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-28GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-32GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-40GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MSZ-50GX	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-22GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MLZ-25GS-IN	MAC-374IFを使用	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF	MAC-374IF ※3	MAC-377IF
MFZ-2814XS	本体標準装備	不可	不可	不可	不可	不可	不可
MFZ-3214XS	本体標準装備	不可	不可	不可	不可	不可	不可
MFZ-4014XS	本体標準装備	不可	不可	不可	不可	不可	不可

※1 室内制御基板中のジャンパー線JR17をカットしてください。 ※3 マルチ室外機の室内ユニットとして接続する場合は個別発停は不可となります。  
 ※2 室内制御基板中のHA端子(JEM-A)の1番-2番ピンを短絡してください。 ※4 室内制御基板中のジャンパー線JR84をカットしてください。  
 ※5 マルチ室外機の室内ユニットとして接続する場合は不可となります。

# 集中コントローラー

## 3.集中コントローラ(4室用・6室用・8室用)

### 3.1 概要

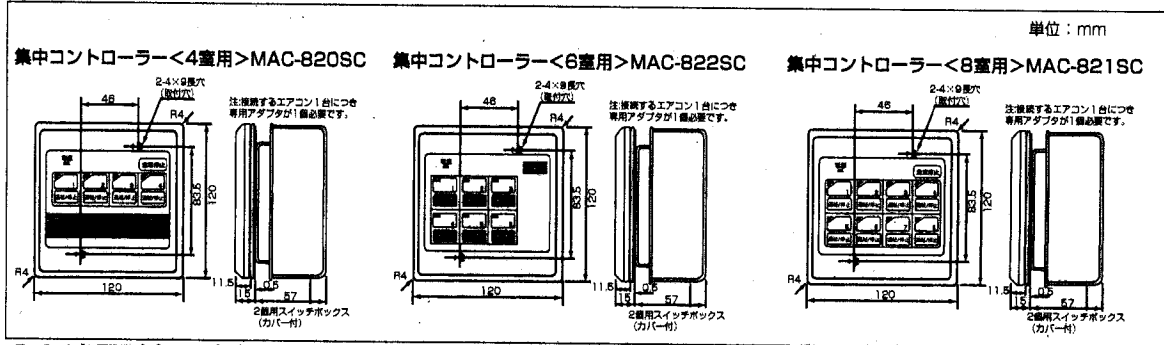
遠隔制御インターフェイスまたはHAアダプタとの組み合わせにより、1台~8台までのエアコンの運転・停止/運転確認が行えます。

### 3.2 製品仕様

#### (1)仕様表

項目	形名	MAC-820SC	MAC-822SC	MAC-821SC
制御エアコン数		4台	6台	8台
電源(V)・(Hz)		AC100・50/60		
消費電力(W)		2	4	
使用周囲温度(°C)		0~40		
外形寸法<高さ×幅×奥行>(mm)		本体操作部 120×120×15	スイッチボックス部	119×138×57
製品質量(g)		320		
通信		マイクロホンコード MVVS 0.3mm <sup>φ</sup> または相当品		

#### (2)外形寸法図



### 3.3 適用形名一覧表

適用形名	使用アダプタ	接続図
MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS,VX28JD MSZ-VX32J,VX32JS,VX40JS,VX40JD MSZ-VX40JD,VX50JS,VX60JD MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS MSZ-VS40JS,VS50JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J,GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN,32GS-IN MTZ-40GS-IN MTZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS,40GXS MSZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS,40GXS MSZ-50GXS MLZ-22GS-IN,25GS-IN MSZ-MX20BX,MX20XP,MX228XS,MX228XSP MSZ-MX258XS,MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS,VX288XS MSZ-VX328XS,VX408XS MLZ-22FXS,25FXS,28FXS,32FXS,40FXS MSH-2237L,2837LS MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN,5017S-IN MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS,RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS,GX50JS	MAC-374IF	<p>※インターフェイス基板上のジャンパー-JPA・JPBをカットしてください。 室内ユニット マイコン基板上のジャンパー JHAをカットしてください。 接続等、詳細は24頁を参照ください。</p>
MSZ-WXV22J,WXV25J,WXV28J,WXV28JS MSZ-WXV36J,WXV36JS,WXV40JS,WXV50JS MSZ-GXV36J,GXV36JS,GXV40JS,GXV50JS MSZ-LXV45JS,LXV56JS,LXV63JS MSZ-DXV25GXS,DXV40GXSP MSZ-WX25FXS,WX40FXSP MLZ-2804S-IN,3204S-IN,4004S-IN	MAC-815AD	<p>※アダプタ本体のリード線を上記の指定されているそれぞれのコネクタに差し込む。</p>
MBZ-2814S-IN,3214S-IN,4004S-IN	MAC-835AD	<p>※アダプタ本体のリード線を上記の指定されているそれぞれのコネクタに差し込む。</p>

# M-NET制御インターフェイス

## 4.M-NET制御を使用した集中・個別管理

### 4.1 概要

単独設置			
概要	M-NETインターフェイスとM-NET制御ネットワークリモコンを使用することにより、ルームエアコン、ハウジングエアコンのワイヤレスリモコン機種をワイヤード化できます。		
適用	M-NETインターフェイス	MAC-377IF	
	M-NET制御ネットワークリモコン	PAR-F26MまたはPAR-F27ME	
接続	最大2台までM-NET制御ネットワークリモコンを接続することができます。		
最遠距離	10m以内		
集中管理			
概要	M-NET制御集中管理リモコン、M-NETインターフェイス、M-NET制御ネットワークリモコンを使用することにより、ルームエアコン、ハウジングエアコンを集中管理することができます。またM-NET制御に対応したパッケージエアコンが混在することも可能です。		
適用	M-NETインターフェイス	MAC-377IF	
	M-NET制御ネットワークリモコン	PAR-F27ME MAリモコンは使用できません。	
	M-NET制御集中管理リモコン	MJ-103MTR(集中コントローラ)	
		MJ-111AN(マルチパネルコントローラ)	
		PAC-SC30GR(グループリモコン)	
PAC-SF41~43SC(システムリモコン)			
接続	最大50台の接続が可能です。(基本はMELANSの制約によります。) ただし、使用されるM-NET制御集中管理リモコンにより接続台数は異なります。 また、給電ユニットによりコントローラ(集中・ネットワークリモコン)の接続数が異なります。 注)その他につきましては <b>Mr.SLIM</b> 技術資料、MELANSテクニカルマニュアルを参照ください。 <給電ユニットによるコントローラの接続台数> 給電拡張ユニットを接続することにより、接続台数を増やすことができます。 詳細は給電拡張ユニット(PAC-SF46EP)の資料をご覧ください。 次頁にシステム例を示します。		
	給電ユニット	集中管理リモコン	ネットワークリモコン(接続可能な台数)
	PAC-SC34KU	1台	26台まで
		2台	22台まで
		3台	18台まで
		4台	14台まで
	PAC-SC33KU	1台	6台まで
		2台	2台まで
	最遠距離	200m以内(推奨信号線 CVVS 1.25mm <sup>2</sup> 以上またはφ1.6mm以上)	

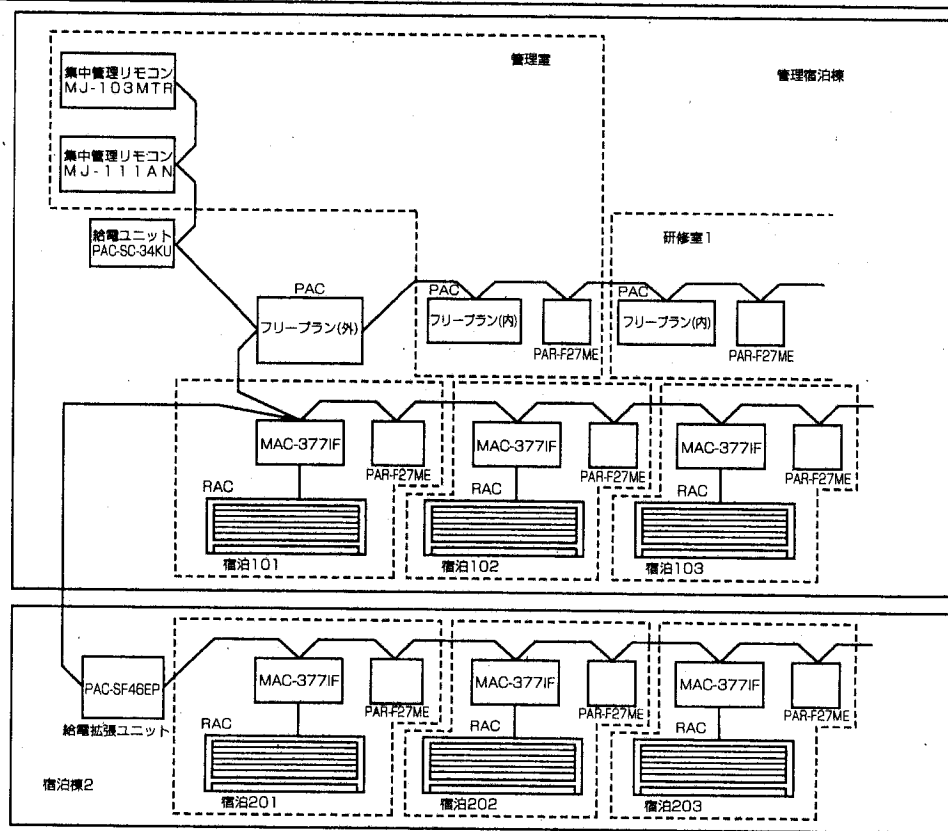
# M-NET制御インターフェイス

## <システム例>

物件名	宿泊研修センター			
施設	管理宿泊棟	管理室、研修室3室、宿泊室15室		
	宿泊棟2	宿泊室15室		
制御	管理棟管理室にて集中管理を行う。			
	集中管理は詳細設定用とON/OFF用の2台			
	管理棟管理室にPAC1台。			
	管理棟研修室 研修室1：PAC3台、研修室2：PAC1台、研修室3：PAC1台			
	宿泊室はワイヤードリモコンとする。			
必要部材	パッケージエアコン(PAC)	6台	フリープラン	電源AC200V
	ルームエアコン(RAC)	30台	MSZ-VX25H	電源AC100V
	ネットワークリモコン(NR)	30台	PAR-F27ME	接続台数により、給電ユニットの種類と給電拡張ユニットの必要/不必要が替わります。
	M-NETインターフェイス	30台	MAC-377IF	
	集中コントローラー1	1台	MJ-103MTR (詳細設定用)	運転/停止、運転モード、風向、風速、タイマー等の設定ができます。
	集中コントローラー2	1台	MJ-111AN (ON/OFF用)	運転/停止ができます。
	給電ユニット	1台	PACSC34KU	電源AC100VまたはAC200V 接続台数が少ない場合はPACSC33KUが使用できます。
	給電拡張ユニット ※	1台	PAC-SF46EP	電源AC100VまたはAC200VRACにNRを使用しない場合は不要。詳細はPAC-SF46EPの使用を参照ください。
	配線	必要数	CVVSφ1.6mm以上 または1.25mm以上	

※ 給電拡張ユニットは下記のような場合にご使用ください。  
 ・配線長が長く、信号が減衰している場合。 ・NRの接続台数が給電ユニットの制限を超える場合。  
 詳細についてはPAC-SF46EPの資料をご覧ください。

## <配線>





## 4.2 M-NET制御インターフェイス適用機種一覧表

適用M-NET制御 インターフェイス	適用形名	ディップスイッチの設定 (11頁参照)	接続要領 (12,13頁参照)	適用ネットワークリモコン
MAC-377IF	MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VX32J,VX32JS,VX40JS,VX40JD, MSZ-VX50JS,VX50JD MSZ-VS22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VS40JS,VX50JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J,GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN,32GS-IN MTZ-40GS-IN MTZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS,40GXS MSZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS,40GXS MSZ-50GXS MLZ-22GS-IN,25GS-IN MSZ-MX208X,MX208XP,MX228XS,MX228XSP MSZ-MX258XS,MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS,VX288XS MSZ-VX328XS,VX408XS MLZ-22FXS,25FXS,28FXS,32FXS,40FXS MSH-2237L,2837LS MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN,5017S-IN MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS,RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS,GX50JS	パターン10	グループF	PAR-F26M または PAR-F27ME
	MSZ-VX28JD	パターン2	グループB	
	MLZ-2804S-IN,3204S-IN,4004S-IN	パターン8	グループE	
	MBZ-2814S-IN,3214S-IN,4014S-IN	パターン9	グループD	

**ご注意** パターン及びグループの表示は据付説明書に準じています。

# M-NET制御インターフェイス

## 4.3 製品仕様

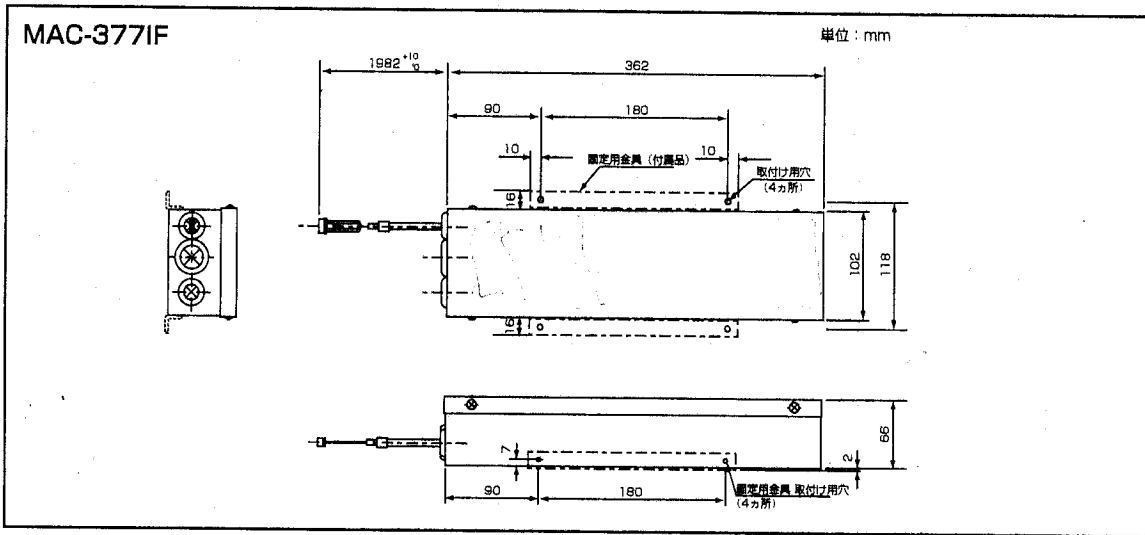
### (1)仕様表

項目	形名	MAC-377IF
電源	源(V)・(Hz)	AC100・50/60
消費電力(W)		3.6
使用環境条件		0~40℃ 結露なきこと 屋内専用
外形寸法〈高さ×幅×奥行〉(mm)		66×362×102
製品質量(kg)		2

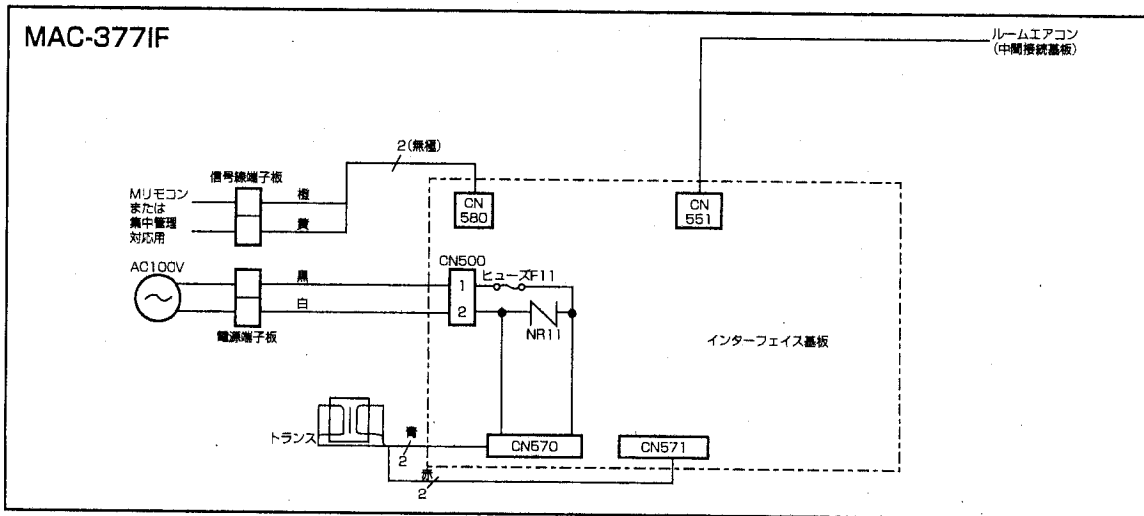
### (2)主要電気部品仕様・定格

項目	形名	MAC-377IF
トランス		1次側AC100V 2次側AC28V
電源端子台		2P
信号線端子台		2P
バリスタ(NR11)		ERZ-C10TK221

### (3)外形寸法図

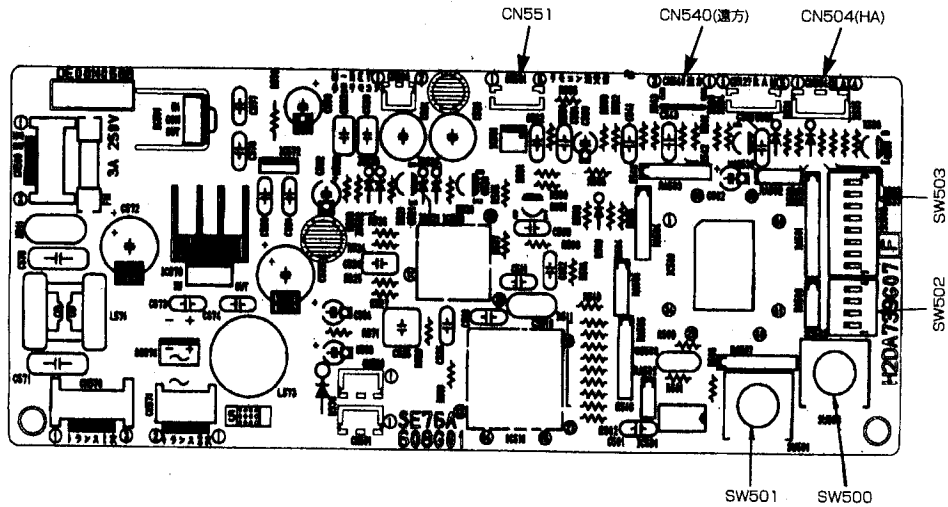


### (4)電気配線図



## 4.4 ディップスイッチの設定

### インターフェイス基板



ディップスイッチ(SW503)	設定パターン	SW501, SW500 …アドレス設定SW	SW501 SW500
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン1	集中管理用のアドレス設定を行います。  SW502の1番 …ネットワークリモコン接続数の設定  ネットワークリモコンを使用してルームエアコンをワイヤードリモコン化する場合、ネットワークリモコンを1台接続するか2台接続するかを選択します。  SW502の2番 …接続構成の設定  M-NETの集中管理システムにルームエアコンを接続するか、ネットワークリモコンを使用して、ルームエアコンを単独でワイヤードリモコン化するかを選択します。  SW502の3番、4番 …RAC機種選択スイッチ (号機別り付)  (ワイヤレスリモコン用) 一部屋にルームエアコンを1台しか設置しない場合や、一部屋に2台以上ルームエアコンを設置した場合であっても、ルームエアコン用ワイヤレスリモコンを共通で使用するには1号機に設定してください。	+の位アドレス -の位アドレス SW501が+の位アドレス、SW500が-の位アドレスとなりますので、 例えば アドレスを「25」に設定するにはSW501を「2」、SW500を「5」に設定します。  1台 2台
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン2		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン3		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン4		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン6		集中管理 単独設置
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン6		1号機 2号機 3号機 4号機
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン7		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン8		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン9		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン10		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン11		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン12		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン13		
ON: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 OFF: [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	パターン14		

※SW503の設定は9頁の適用機種欄 (ディップスイッチSW503) にて確認の上設定してください。

※正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確実に設定を行ってください。

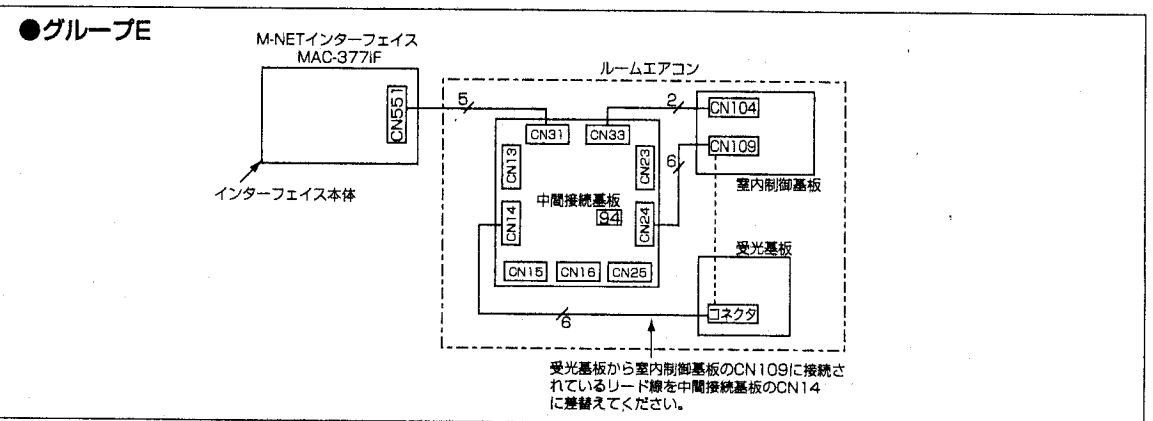
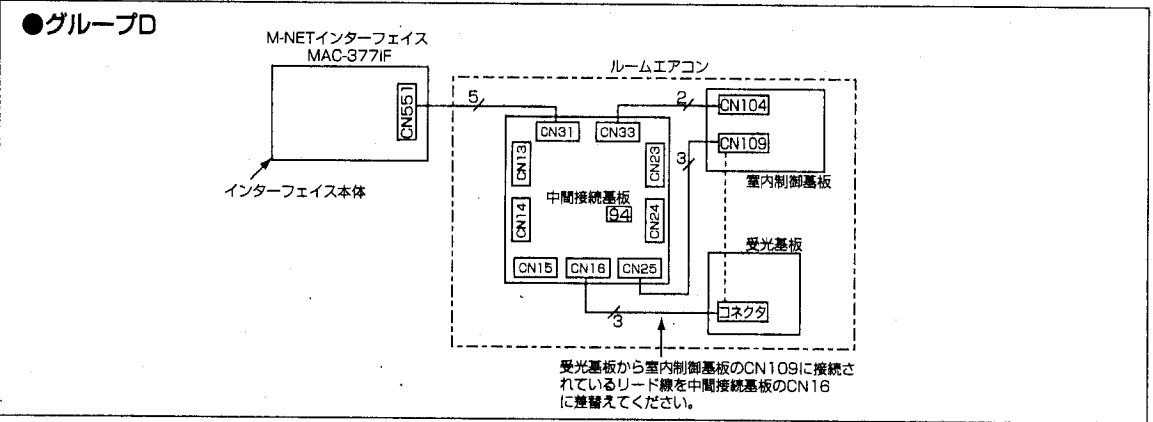
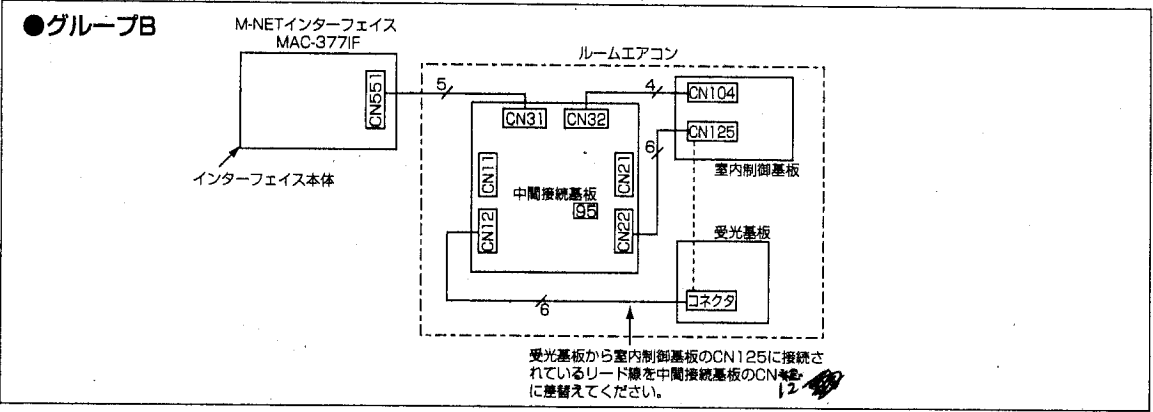
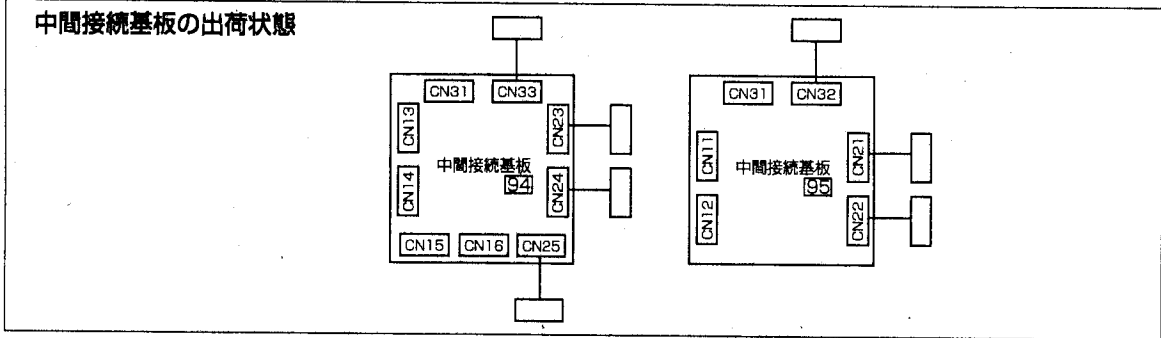
# M-NET制御インターフェイス

## 4.5 接続要領

### (1) M-NETインターフェイスとルームエアコンの接続

- M-NETインターフェイス基板とルームエアコンの室内制御基板とを接続します。  
 接続する機種によって接続方法が異なりますので9頁の適用機種の記事をご覧ください。

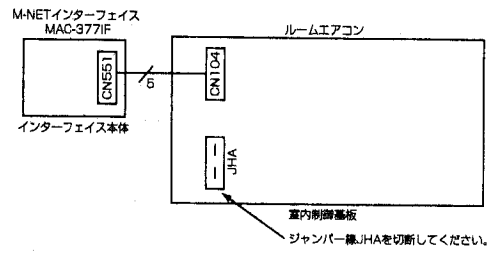
(注) インターフェイス基板と補助基板をつなぐ線は加工せずそのままお使いください。



# M-NET制御インターフェイス

## ●グループ

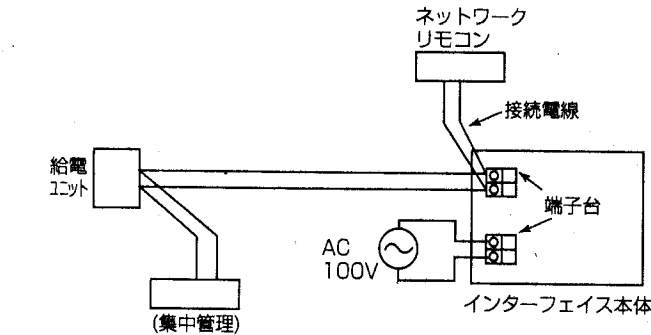
注：中間接続基板は使用しません。



# M-NET制御インターフェイス

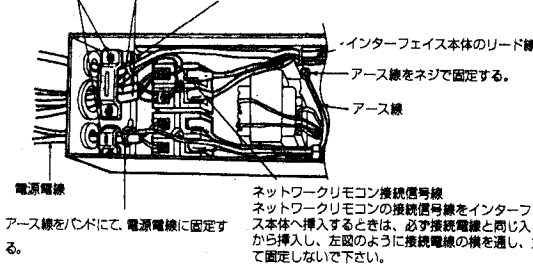
## (2) M-NETインターフェイスと電源線及びネットワークリモコンの接続

- M-NETインターフェイスにはAC100V電源が必要ですので電源線接続作業が必要です。(電線は現地手配)  
集中コントローラ, ネットワークリモコン, 給電ユニットを接続する場合は、下図を参照してください。

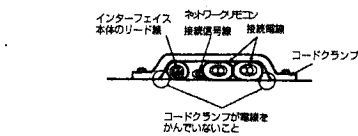


電源皮むき寸法	
VVFケーブル 2芯	
適用集中コントローラ ネットワークリモコン 接続信号線 2芯	

コードクランプ 接続電線 ネットワークリモコン接続信号線をバンドにて、インターフェイス本体のリード線に固定する。



\*端子台に配線される電源及び信号線は極性がありません。



**注意** 電源を入れたままで信号線の取り付け/取りはずし作業をしないでください。また、信号線を短絡させないでください。

- 注意**
- ①配線工事は電気設備技術基準及び内線規定に従って施工してください。
  - ②電源回路はM-NETインターフェイス専用回路としてください。
  - ③アース工事については添付書類「アース工事について」をご覧ください。
  - ④電源電線とその他の信号電線は誤動作の原因となりますのでできるだけ離して配線してください。

**注意** 配線終了後、各電線をコードクランプでしっかりと固定してください。工事終了後は端子台の上にはり付けてある銘板を外してください。

## (3) 単独設置時の作業 (リモコンのワイヤード化のみ行い、集中管理を行わない場合に必要作業です。)

ネットワークリモコン	接続イメージ	M-NET制御インターフェイス基板	ネットワークリモコンのアドレス設定
1台		<p>・リード線をインターフェイス本体のコネクタCN590,591に取付けてください。 集中管理を行う場合には取付しないでください。 ・基板上のSW502の1番が「1台」2番「単独設置」になっていることを確認してください。(ディップスイッチの設定の項参照)</p>	101に設定してください。設定のしかたはネットワークリモコンに付属の説明書を参照してください。
2台	<p><b>注意</b> 給電ユニットが必要です。</p>	<p>・上記のリード線接続は不要です。 ・基板上のSW502の1番が「2台」,2番「単独設置」になっていることを確認してください。(ディップスイッチの設定の項参照)</p>	101,102 に設定してください。設定のしかたはネットワークリモコンに付属の説明書を参照してください。

# M-NET制御インターフェイス

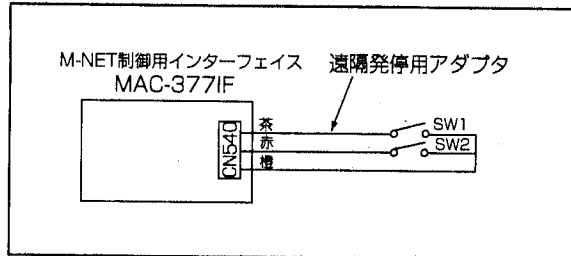
## (4) 外部信号により個別運転の運転/停止を制限する。

### ●概要

手元操作の禁止/許可、または遠方コントロールができます。

### ●接続

遠方コントロール端子(CN540)の遠方発停用アダプタ(PAC-SE55RA)を接続してください。  
または、制御用スイッチ(SW1,SW2)を接続してください。



注)遠方発停用アダプタ(PAC-SE55RA)に付属されている資料に記載されている内容と"SW1","SW2"の機能が異なります。

### ●制御

SW1：手元操作禁止時の運転/停止制御

SW2：手元操作 許可/禁止

SW2 ※3		SW1 ※3		手元操作 ※1
ON	手元操作禁止	ON	運転	無効 ※2
		OFF	停止	
OFF	手元操作許可	無効		有効

※1 手元操作・・・ネットワークリモコンまたはワイヤレスリモコンによる操作です。

※2 無効・・・ワイヤレスリモコン使用の場合、変更は受け付けませんが受信音はします。

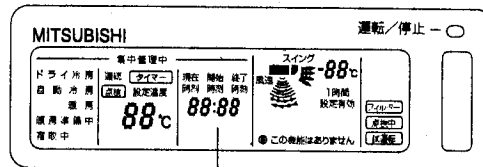
※3 SW2がOFFからONになった場合、SW1の状態の運転になります。

(例) 通常運転中(SW2 :OFF, SW1:OFF)→SW2をOFFからONにする。

SW1のOFFが有効となる→集中管理中の停止

## (5) ネットワークリモコンにルームエアコンの異常内容がコードで表示されます。

ただし、下記以外の異常内容は表示することができません。



エラーNo.表示  
ユニットで何らかの異常が発生した場合の点検コード(4桁)を表示します。

点検コード	点検コードの意味および検知手段	要因	処置
1000	ルームエアコン・ハウジングエアコン 冷媒系異常	内容およびチェック方法と処置の詳細は各機種のサービスハンドブックを参照ください。	
2000	ルームエアコン・ハウジングエアコン ドレン異常		
4114	ルームエアコン・ハウジングエアコン 室内ファンモータ異常		
4210	ルームエアコン・ハウジングエアコン 室外パワー系異常		
5101	ルームエアコン・ハウジングエアコン 室内サーミスタ異常		
5102	ルームエアコン・ハウジングエアコン 室外サーミスタ異常		
6800	ルームエアコン・ハウジングエアコン シリアル(内外通信)異常		
7000	ルームエアコン・ハウジングエアコン 室内・室外マッチング異常		

# M-NET制御インターフェイス

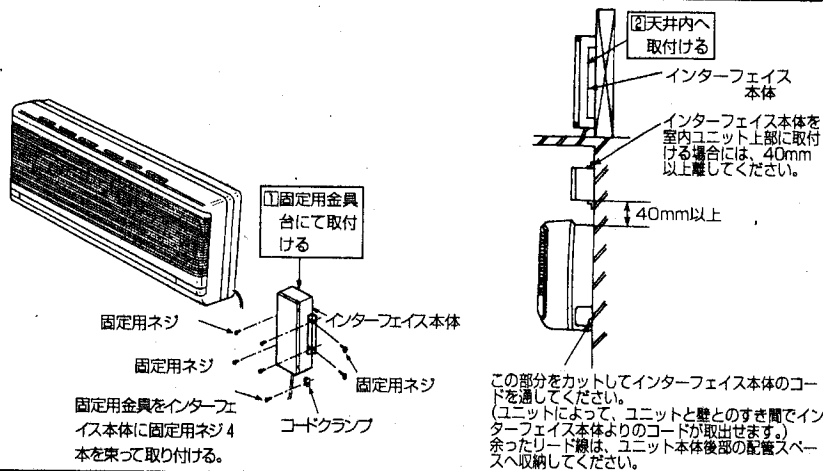
## 4.6 室内ユニットへの取付け

取付ける室内ユニットによりインターフェイス本体の取付方法が異なりますのでご注意ください。  
 M-NETインターフェイス本体の設置場所はインターフェイスからのリード線が室内ユニットへ届く範囲としてください。  
 リード線の現地での延長は正常に動作しなくなりますので絶対におこなわないでください。  
 ※インターフェイス本体の取付けは固定用金具を本体へ取付け後、柱・壁等に4本のネジを使って確実に固定してください。

### (1) 壁掛形

**ご 注 意**

- ①インターフェイス本体を天井・壁内へ取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けてください。
- ②取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナーによりとりまとめてください。



## 4.7 M-NET制御インターフェイスご使用上の注意事項

**ご使用上の注意事項** ルームエアコンの試運転を必ずルームエアコンに付属のワイヤレスリモコンで行ってください。

- 以下の制限内容については実際にご使用になる方に十分なご説明をお願い致します。  
 本M-NETインターフェイスはルームエアコンをパッケージエアコンの制御で動作させるものですが、ルームエアコンとパッケージエアコンの機能上の違いからいくつかの制限が出てきます。特に以下の内容にはご注意ください。
- ①集中コントローラの電源とM-NETインターフェイスの電源とルームエアコンの電源は同じタイミングで入れてください。
  - ②ルームエアコン付属のリモコンと、ネットワークリモコンの併用はしないでください。  
 リモコン表示およびエアコンの動作に不具合がでることがあります。
  - ③ルームエアコン独自の運転モード(例えばカピガードなど)については、ネットワークリモコンまたは集中リモコンで動作させることはできません。ルームエアコン付属のリモコンでそれらの運転を設定した場合には、集中リモコンには対応するモードがないため「自動」と表示されます。
  - ④ネットワークリモコンあるいは集中リモコンがもっているルームエアコンがもっていない機能については、あらかじめ決められた別の運転モードに変換されてルームエアコンが運転します。(リモコン操作-エアコン動作対応表参照)
  - ⑤ルームエアコン付属のリモコンがもっている集中リモコンがもっていない機能については、あらかじめ決められた表示になります。この場合には実際の動作と表示内容は異なります。(ルームエアコン付属のリモコンで風速自動に設定されると集中リモコンは強と表示されます。また同様に風向自動に設定されると集中リモコンには水平と表示されます。)
  - ⑥温度設定については、設定温度範囲がルームエアコンの方が広いため、ルームエアコンで17℃以下、または30℃以上に設定された場合には、集中コントローラの設定温度表示は、集中コントローラで設定できる値のそれぞれ下限、上限に置き換えられて表示されます。(例えばルームエアコンで暖房時16℃と設定されても、集中リモコン表示は17℃となります。)  
 ネットワークリモコンの室温表示はルームエアコンの制御には使用されません。(ルームエアコンの検出温度は表示しません。)  
 ネットワークリモコンでの検出温度を表示します。また自動運転を使用する場合、ネットワークリモコンで検出した温度でモードが決定するため、据付位置に注意してください。  
 ルームエアコンはルームエアコン本体が検出した室温に従って動作をします。
  - ⑦タイマー運転は、ルームエアコン付属のリモコンか、集中リモコンかどちらか一方でのみ設定してください。  
 同時期に両方で設定が行われずとタイマーが正常に動きません。
  - ⑧ルームエアコン付属のリモコンでタイマー設定した場合には、集中リモコンにはタイマーの表示はされません。
  - ⑨集中リモコンでタイマー設定されている場合に、ルームエアコン付属のリモコンで運転を停止しても、集中リモコンのタイマーは解除されません。
  - ⑩集中リモコンで手元禁止にした場合には、ルームエアコン付属のリモコンの操作は受けなくなります。操作時の受信音は鳴ります。  
 また、手元禁止を設定する場合は、運転制御指令(運転停止など)から操作禁止指令まで3分以上の遅延時間を設けてください。
  - ⑪ネットワークリモコンあるいは集中リモコンに異常内容が表示されたときには、異常の表示をクリアするにはネットワークリモコン、集中リモコンまたはルームエアコン付属のリモコンで一度運転停止にしてください。

**リモコン操作-エアコン動作対応表** ネットワークリモコン、集中リモコンを操作したときに、ルームエアコンが動作する内容を示します。

	ネットワークリモコン集中リモコンの操作・表示	ルームエアコンの動作
電 源	運転/停止	運転/停止
	送風	送風
	自動冷房	冷房
	自動暖房	暖房
	冷房	冷房
運 転 モード	暖房	暖房
	ドライ	ドライ
	17℃~30℃	17℃~30℃
温 度 設 定	弱	弱
	中1	弱
	中2	強
風 速 設 定	強	最
	水平吹き	位置1
	60%	位置3
風 向 調 節	80%	位置4
	下吹き	位置5
	スウィング	スウィング

※スイッチ設定によっては表示されない項目があります。  
 ※ルームエアコン付属のリモコンで操作された場合にはルームエアコンは操作された内容と同じ動作をします。そのときに集中リモコンの表示内容は実際の動作と異なることがあります。(左記注意事項をご覧ください。)



## 5.HAアダプタ MAC-815AD

ルームエアコン・ハウジングエアコン機種を各種システムコントロールに接続するためのアダプタです。

### 5.1 概要

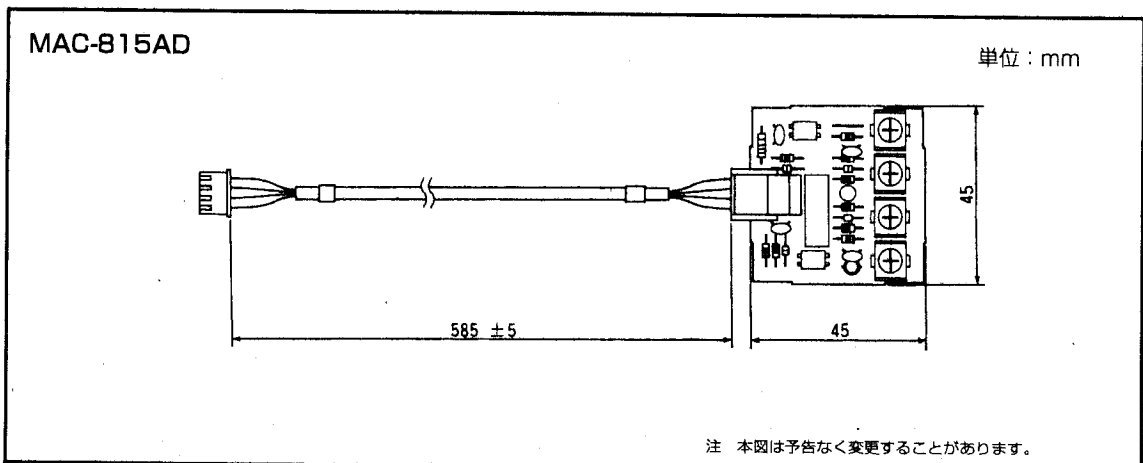
集中コントロール		
概要	HAアダプタと集中コントローラーを使用することにより、4台、6台、8台までのエアコンの運転・停止/運転確認ができます。	
適用	HAアダプタ	MAC-815AD
	集中コントローラー	MAC-820SC
		MAC-822SC
		MAC-821SC
接続	最大8台の接続が可能です。	
	<集中コントローラーの接続台数> ※エアコン(室内機)1台にHAアダプタ1台必要です。	
	集中コントローラー	※エアコン(HAアダプタ)
	MAC-820SC	1~4台
	MAC-822SC	1~6台
MAC-821SC	1~8台	
遠方コントロール		
概要	HAアダプタを使用することにより、遠方からのエアコンの運転ができます。さらに、運転状態のモニターやエアコンの運転ができます。 さらに、運転状態のモニターや外部信号によるエアコン操作も可能になります。(現地調達部品必要)	
適用	HAアダプタ	MAC-815AD

### 5.2 製品仕様

#### (1)仕様表

項目	形名	MAC-815AD
外形寸法(長さ×高さ×奥行)(mm)		45×45×15(接続コードは除く)
使用環境条件		-10℃~60℃ 結露なきこと 屋内専用
通信線		芯数は制御によって異なります。(推奨2対カッド形PVC屋内線 【PVC-1CT 0.85×2P】 外径φ4.5mm)
通信線配線距離		max100m
室内ユニット接続線		付属接続線 4芯(HA制御モニタ)
製品質量(g)		17

#### (2)外形寸法図



# HAアダプタ

## 〈現地で用意していただく部品〉

信号ケーブル、マイクロホンコードMVVS0.3mm<sup>2</sup>または相当品

## 5.3 HAアダプタの取付

### (1) 取付けの前に

#### 〈信号ケーブルおよび配線部材について〉

信号ケーブルおよび配線部材は右記仕様品または、同等品を別途お買い求めの上配線工事を行ってください。

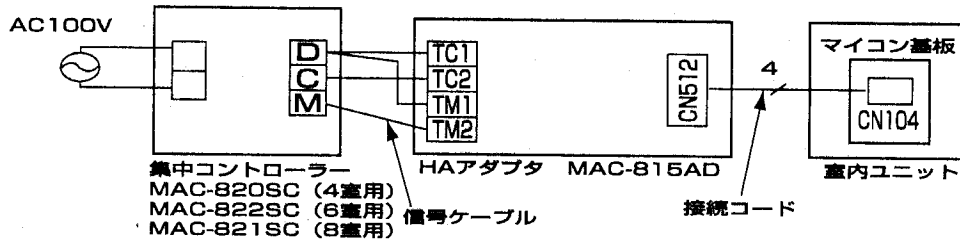
信号ケーブルは、電力線からできるだけ離してください。

信号ケーブル
マイクロホンコード MVVS 0.3mm <sup>2</sup> または相当品

### (2) 信号ケーブルの接続

HAアダプタと信号ケーブルとの接続は下図により正しく行ってください。

なお、集中コントローラからHAアダプタまでの最大配線抵抗は1線間25Ω以下にしてください。



### (3) エアコンとアダプタの接続

取付けを行う前に安全のためエアコンの室内ユニットの電源プラグをコンセントから抜いてください。

HAアダプタのHAコネクタとエアコンとの接続は、エアコンの据付説明書をご確認の上正しく行ってください。

## 5.4 HAアダプタを使用した集中コントロール

### (1) 適用機種および接続要領一覧表

適用機種	接続要領
MSZ-WXV22J, WXV25J, WXV28J MSZ-WXV28JS, WXV36J, WXV36JS MSZ-WXV40JS, WXV50JS MSZ-GXV36J, GXV36JS, GXV40JS MSZ-GXV50JS MSZ-LXV45JS, LXV56JS, LXV63JS MSZ-DXV25GXS, DXV40GXSP MSZ-WX25FXS, WX40FXSP MLZ-2804S-IN, 3204S-IN, 4004S-IN	<p>本体はエアコン1台の場合を示します。 エアコン1台につき、HAアダプタ(MAC-815AD)が1台必要です。</p>

## 5.5 HAアダプタを使用した遠方コントロール

(1) 有電圧常時接点对应(配線長100m未満)

電灯スイッチのような入・切の切換スイッチを用いて、エアコンの運転・停止を行うことができます。またモニタランプによるエアコンの運転状況のモニタを行えます。スイッチ・電源・モニタランプを含めた遠隔操作部は現地に調達・配線してください。

適用機種		接続要領			
MSZ-WXV22J,WXV25J,WXV28J MSZ-WXV28JS,WXV36J,WXV36JS MSZ-WXV40JS,WXV50JS MSZ-GXV36J,GXV36JS,GXV40JS MSZ-GXV50JS MSZ-LXV45JS,LXV56JS,LXV63JS MSZ-DXV25GXS,DXV40GXSP MSZ-WX25FXS,WX40FXSP MLZ-2804S-IN,3204S-IN,4004S-IN					
現地調達部品の仕様	DC電源	5V	12V	24V	・電源電圧の値により使用する抵抗値が変わりますのでご注意ください。 ・左記抵抗値は使用する場合、DC電源出力は2W以上のものをご使用ください。 <DC電源具体例> TDK株式会社製 EAK05-3R0G(出力DC5V・15W 接続端子ネジ式) EAK12-1R3G(出力DC12V・15W 接続端子ネジ式) EAK24-0R7G(出力DC24V・15W 接続端子ネジ式) FMP05-R60(出力DC5V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP12-R25(出力DC12V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP24-R13(出力DC24V・3W 接続端子ファスト端子式) 問い合わせ先 TDK株式会社 電源営業推進部 TEL (03)-5201-7206
	抵抗1	200Ω 1/4W	1.0kΩ 1/4W	2.0kΩ 1/2W	
	抵抗2	不要	470Ω 1/4W	1.2kΩ 1/2W	
	スイッチ	片切スイッチ(a接点) (10mA程度の電流が流せるもの)			
	LED (モニタランプ)	発光ダイオード (10~16mA位で点灯するもの)			
操作要領	1)初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 2)以後、スイッチを短絡するとエアコンが運転を始め、スイッチを開放するとエアコンが停止します。 3)LEDは運転の時に点灯、停止の時に消灯します。				
モニタ	●前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。 ●運転モードの切換はワイヤレスリモコンで切り換えてください。 ●長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。 ●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)				

(2) 有電圧常時接点对应(配線長100m以上)

外部信号による運転/停止および配線の長さが100mを超える場合は以下の接続要領をお勧めします。(リレーの追加)

リレー・電源を含めた遠隔操作部は現地に調達・配線ください。制御部(TC1,TC2に接続)はリレー基板を追加することにより100m以上に延長することができますが、表示部(TM1,TM2に接続)は延長(100m以上)することができません。

適用機種		接続要領			
MSZ-WXV22J,WXV25J,WXV28J MSZ-WXV28JS,WXV36J,WXV36JS MSZ-WXV40JS,WXV50JS MSZ-GXV36J,GXV36JS,GXV40JS MSZ-GXV50JS MSZ-LXV45JS,LXV56JS,LXV63JS MSZ-DXV25GXS,DXV40GXSP MSZ-WX25FXS,WX40FXSP MLZ-2804S-IN,3204S-IN,4004S-IN					
現地調達部品の仕様	DC電源	5V	12V	24V	・電源電圧の値により使用する抵抗値が変わりますのでご注意ください。 ・左記抵抗値は使用する場合、DC電源出力は2W以上のものをご使用ください。 <DC電源具体例> TDK株式会社製 EAK05-3R0G(出力DC5V・15W 接続端子ネジ式) EAK12-1R3G(出力DC12V・15W 接続端子ネジ式) EAK24-0R7G(出力DC24V・15W 接続端子ネジ式) FMP05-R60(出力DC5V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP12-R25(出力DC12V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP24-R13(出力DC24V・3W 接続端子ファスト端子式) 問い合わせ先 TDK株式会社 電源営業推進部 TEL (03)-5201-7206
	抵抗	200Ω 1/4W	1.0kΩ 1/4W	2.0kΩ 1/2W	
	リレー	リレーの接点は接点定格電流が10mA位のものを使用してください。			
操作要領	1)初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 2)以後、リレー接点を短絡するとエアコンが運転を始め、リレー接点を開放するとエアコンが停止します。				
モニタ	●前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。 ●運転モードの切換はワイヤレスリモコンで切り換えてください。 ●長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。 ●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)				
ご注意	エアコンの運転/停止スイッチとアダプタの配線距離が100m以内でもビル1Fから3Fなど強電界を信号線が通る場合には、リレーを用いてリレー電源のON/OFFによりエアコンの運転/停止を行ってください。この時リレー基板(現地調達)とアダプタとの配線距離はできるだけ短くしてください。				

# HAアダプタ

## (3) 有電圧瞬時接点对应(配線長100m未満)

タクトスイッチ(押すごとに運転/停止を繰り返す方式)を用いて、エアコンの運転/停止および表示を行うことができます。スイッチ・電源・モニタランプを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください

適用機種		接続要領			
MSZ-WXV22J,WXV25J,WXV28J MSZ-WXV28JS,WXV36J,WXV36JS MSZ-WXV40JS,WXV50JS MSZ-GXV36J,GXV36JS,GXV40JS MSZ-GXV50JS MSZ-LXV45JS,LXV56JS,LXV63JS MSZ-DXV25GX,S,DXV40GXSP MSZ-WX25FXS,WX40FXSP MLZ-2804S-IN,3204S-IN,4004S-IN					
現 地 調 達 部 品 の 仕 様	DC電源	5V	12V	24V	・電源電圧の値により使用する抵抗値が変わりますのでご注意ください。 ・左記抵抗値は使用する場合、DC電源出力は2W以上のものをご使用ください。 <DC電源具体例> TDK株式会社製 EAK05-3R0G(出力DC5V・15W 接続端子衫 <sup>®</sup> 式) EAK12-1R3G(出力DC12V・15W 接続端子衫 <sup>®</sup> 式) EAK24-0R7G(出力DC24V・15W 接続端子衫 <sup>®</sup> 式) FMP05-R60(出力DC5V・3W 接続端子ファスト <sup>®</sup> 端子式) FMP12-R25(出力DC12V・3W 接続端子ファスト <sup>®</sup> 端子式) FMP24-R13(出力DC24V・3W 接続端子ファスト <sup>®</sup> 端子式) 問い合わせ先 TDK株式会社 電源営業推進部 TEL (03)-5201-7206
	抵抗1	200Ω 1/4W	1.0kΩ 1/4W	2.0kΩ 1/2W	
	抵抗2	不要	470Ω 1/4W	1.2kΩ 1/2W	
	タクト スイッチ	押した時だけ接点が閉じるスイッチ (10mA程度の電流が流せるもの)			
	LED (モタラフ <sup>®</sup> )	発光ダイオード (10~16mA位で点灯するもの)			
操 作 要 領	1)初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 2)以後、スイッチを押すごとにエアコンが運転/停止を繰り返します。 3)スイッチはタクト式ですので運転モニタ用の表示(LED)は必ず接続してください。 LEDは運転の時に点灯、停止の時に消灯します。 4)スイッチのON時間は100ms以上設けてください。				
運 転 キ ャ ド	●前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。 ●運転モードの切換はワイヤレスリモコンで切り換えてください。 ●長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。 ●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)				

# 遠隔制御用インターフェイス

## 6 遠隔制御用インターフェイス MAC-374IF

ルームエアコン・ハウジングエアコン機種を各種システムコントロールに接続するためのインターフェイスです。

### 6.1 概要 (下記の機能は併用することができません。)

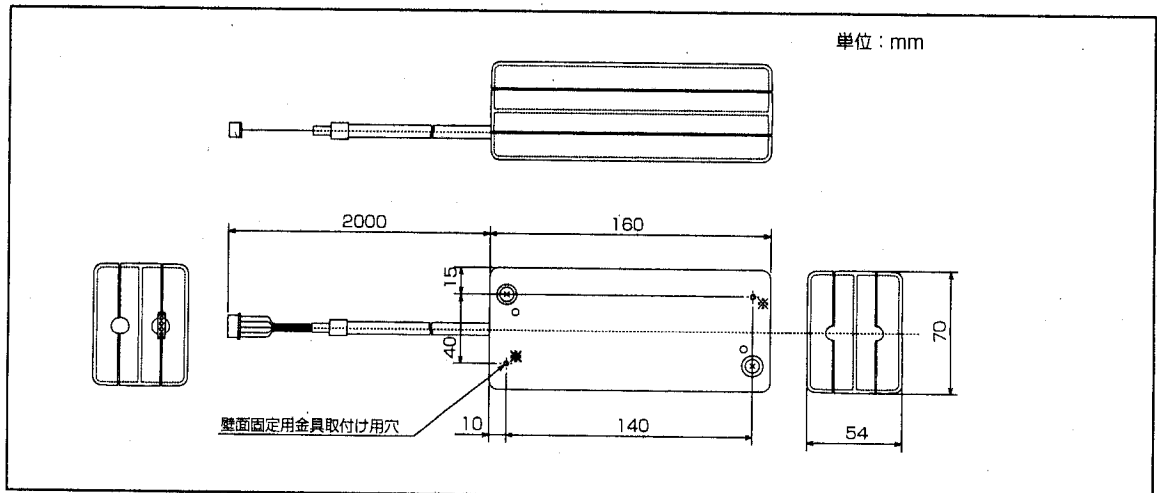
集中コントロール									
概要	遠隔制御用インターフェイスと集中コントローラーを使用することにより、4台、6台、8台までのエアコンの運転・停止/運転確認ができます。								
適用	<table border="1"> <tr> <td>遠隔制御用インターフェイス</td> <td>MAC-374IF</td> </tr> <tr> <td>集中コントローラー</td> <td>MAC-820SC MAC-822SC MAC-821SC</td> </tr> </table>	遠隔制御用インターフェイス	MAC-374IF	集中コントローラー	MAC-820SC MAC-822SC MAC-821SC				
遠隔制御用インターフェイス	MAC-374IF								
集中コントローラー	MAC-820SC MAC-822SC MAC-821SC								
接続	<p>最大8台の接続が可能です。                      &lt;集中コントローラーの接続台数&gt; ※エアコン(室内機)1台につき遠隔制御用インターフェイス1台必要です。</p> <table border="1"> <tr> <td>集中コントローラー</td> <td>※エアコン(遠隔制御用インターフェイス)</td> </tr> <tr> <td>MAC-820SC</td> <td>1~4台</td> </tr> <tr> <td>MAC-822SC</td> <td>1~6台</td> </tr> <tr> <td>MAC-821SC</td> <td>1~8台</td> </tr> </table>	集中コントローラー	※エアコン(遠隔制御用インターフェイス)	MAC-820SC	1~4台	MAC-822SC	1~6台	MAC-821SC	1~8台
集中コントローラー	※エアコン(遠隔制御用インターフェイス)								
MAC-820SC	1~4台								
MAC-822SC	1~6台								
MAC-821SC	1~8台								
遠方コントロール									
概要	遠隔制御用インターフェイスを使用することにより、遠方からのエアコンの運転ができます。さらに、運転状態のモニターや外部信号によるエアコン操作も可能になります。								
適用	<table border="1"> <tr> <td>遠隔制御用インターフェイス</td> <td>MAC-374IF</td> </tr> </table>	遠隔制御用インターフェイス	MAC-374IF						
遠隔制御用インターフェイス	MAC-374IF								
元電源発停									
概要	ブレーカースイッチの入/切によりエアコンの運転・停止を行うものです。停電後の自動復帰も可能となります。								
適用	<table border="1"> <tr> <td>遠隔制御用インターフェイス</td> <td>MAC-374IF</td> </tr> </table>	遠隔制御用インターフェイス	MAC-374IF						
遠隔制御用インターフェイス	MAC-374IF								
HA・JEM-Aシステム									
概要	遠隔制御用インターフェイスを使用することによりHA・JEM-Aシステムでエアコンの運転・停止/運転確認ができます。								
適用	<table border="1"> <tr> <td>遠隔制御用インターフェイス</td> <td>MAC-374IF</td> </tr> <tr> <td>HA・JEM-Aシステム</td> <td>適用システム</td> </tr> </table>	遠隔制御用インターフェイス	MAC-374IF	HA・JEM-Aシステム	適用システム				
遠隔制御用インターフェイス	MAC-374IF								
HA・JEM-Aシステム	適用システム								

### 6.2 製品仕様

#### (1)仕様表

項目	形名	MAC-374IF
電源	源	●グループA・B・F:エアコン室内からの供給(DC12V) ●グループC・D・E:別電源(DC12V)
外形寸法(長さ×高さ×奥行)(mm)		160×54×70
使用環境条件		0~40℃ 結露なきこと 屋内専用
通信線		3芯(推奨マイクロホンコード(MVVS)0.3mm <sup>2</sup> )
通信線配線距離		max100m
室内ユニット接続線		5芯(リモコン信号入力)
製品質量(g)		200

#### (2)外形寸法図



# 遠隔制御用インターフェイス

## 6.3 遠隔制御用インターフェイスとエアコン機種との接続 (ならびに各システムとの接続)

遠隔制御用インターフェイスとエアコン/各システムとの接続順序ならびに作業上の注意は下記のとおりです。

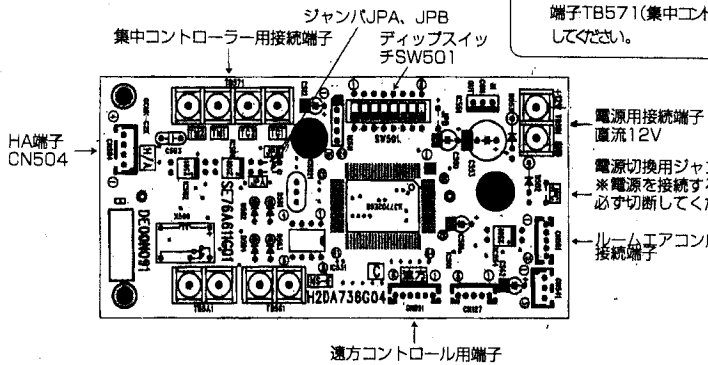
	接続順序	接続作業上の注意
接続作業の流れ ① ↓ ② ↓	<b>遠隔制御用インターフェイスとエアコン機種との接続</b> 	機種により接続に使用する付属部品、接続方法が異なりますのでご注意ください。
	<b>遠隔制御用インターフェイスと各種システムとの接続</b> 	遠隔制御用インターフェイスは多機能タイプのため、接続するシステムによりジャンパー線カットやディップスイッチの設定が必要です。

### (1) インターフェイスとエアコンの接続

- 遠隔制御用インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板を接続します。接続する機種によって接続方法が異なりますのでご注意ください。
- 遠隔制御用インターフェイスから出ている接続線を延長または切断しますと、動作不良になります。また接続線を電源線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。
- 中間接続基板に接続されているリード線で、不要なリード線ははずしてください。
- 中間接続基板へのリード線の抜き差しに工具は使用しないでください。(コネクタやリード線が破損する恐れがあります。)

### (2) インターフェイスと各種システムの接続

〈遠隔制御用インターフェイス基板〉



※ジャンパーJPA、JPBの設定について  
端子TB571(集中コントローラー用接続端子)を使用するときはJPA・JPBを切断してください。

**〈注意〉**  
 〈電流(直流12V)の接続〉  
 ● グループC、D、E(参考適用)の機種は直流12Vの電源が必要になります。  
 ● 取付けの前に、直流12V電源と電源電線をご用意ください。  
 ● 電源用接続端子TB501には極性(12V、GND)がありますので確認の上、接続してください。

- 各システムとの接続線の太さに合わせ、インターフェイス本体のコードクランプを付属部品コードクランプに替えてください。
- ディップスイッチ(SW501)は正しく設定されていない場合は正常な動作をしません。
- ディップスイッチ(SW501)の設定は電源を入れる前に行ってください。

### 〈ディップスイッチの設定〉

※ディップスイッチ(SW501)の設定は接続方法、接続機種等により異なります。

<p>①接続システムによる設定(1,2,6,7番の設定) ディップスイッチ(SW501)の1,2,6,7番の設定は接続するシステムにより異なります。各システムとの接続方法のディップスイッチの設定に従って設定してください。(各システム掲載頁の取付要領参照)</p>																												
<p>②接続機種による設定(3,8番の設定) ディップスイッチ(SW501)の3,8番の設定は接続する機種により異なります。適用機種一覧表により接続されます機種の(機種グループ(A,B,C,D,E,F)) (ディップスイッチ(SW501)3番の設定(パターン1,2))を、ご確認ください。機種グループB,C,D,Eの場合は8番の設定をON、機種グループA、Fの場合はOFFに設定してください。パターン1の場合は3番の設定ON、パターン2の場合はOFFに設定してください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td></td> <td></td> <td>パターン1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>グループB,C,D,E</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td></td> <td></td> <td>パターン2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>グループA,F</td> </tr> </tbody> </table>		1	2	3	4	5	6	7	8	ON			パターン1					グループB,C,D,E	OFF			パターン2					グループA,F
	1	2	3	4	5	6	7	8																				
ON			パターン1					グループB,C,D,E																				
OFF			パターン2					グループA,F																				
<p>③外部(JEM-A対応システム、遠方コントロール)からの入力方法による設定(4番の設定) ディップスイッチ(SW501)の4番の設定は接続するシステムの入力方式により異なります。 入力方式が常時接点の場合ON、瞬時接点の場合OFFに設定してください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常時</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>瞬時</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		1	2	3	4	5	6	7	8	ON				常時					OFF				瞬時				
	1	2	3	4	5	6	7	8																				
ON				常時																								
OFF				瞬時																								
<p>④外部(JEM-A対応システム)への出力方式による設定(5番の設定) ディップスイッチ(SW501)の5番の設定は接続するシステムへの出力により異なります。出力方式がスタティック方式(凡)の場合ON、ダイナミック方式(凡)の場合OFFに設定してください。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>スタティック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ダイナミック</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		1	2	3	4	5	6	7	8	ON					スタティック				OFF					ダイナミック			
	1	2	3	4	5	6	7	8																				
ON					スタティック																							
OFF					ダイナミック																							

## 6.4 遠隔制御用インターフェイス本体の据付け

※インターフェイス本体の取付は固定用金具を本体へ取付け後、柱・壁等に4本のネジを使って確実に固定してください。

### (1) 壁掛形

**ご注意**

- ①インターフェイス本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口をもうけて柱・壁等に固定用金具を使って固定してください。
- ②取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー④によりまとめてください。

**配列例 (機種グループB)**

この部分もカットしてアダプタのコードを、通してください。(ユニットによって、ユニットと壁とのすき間でアダプタのコードが取り出せます。)

●電圧固定用金具①にて取付ける  
●壁面に直接取付ける  
●ケース固定用ネジ (本体付属)  
●取回し後に取付ける

アダプタ本体  
固定用ネジ②  
取回し固定金具③  
ケース固定用ネジ (本体付属)  
固定用ネジ④

コードクランプ⑤  
●壁面に直接取付ける  
●本体固定用ネジ

CN125  
※点検口からコネクタを差し、中間接続板から56Pのコネクタを接続する。

CN104  
インターフェイス本体からの56Pのコネクタと接続板からのコネクタ (CN125) より取付したコネクタ①を接続する。

中間接続板接続①  
インターフェイス本体からの56Pのコネクタと接続板からのコネクタ (CN125) より取付したコネクタ①を接続する。

固定用ネジ②  
4×10  
※取回しの際に付いているネジは固定用ネジが4×6にて取付部と共通する。

コードクランプ(中)⑤  
※リード線が長い場合はコードクランプ(大)を

CN104  
プリント基板

### (2) 床置形

※ユニット天井面に取付ける場合は、吹出口にかからないように取付けてください。

**ご注意**

取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー④によりまとめてください。

●ユニット天井面に取付ける  
●壁面固定用金具①にて取付ける  
●取回し後に取付ける

クッション材(大)③

コーパー部をカットしてインターフェイス本体よりのコードを通してください。

### (3) 天井カセット形

**ご注意**

- ①インターフェイス本体を天井内へ取付ける場合には、サービスできるように開口部付近の柱・壁等に固定用金具を使って固定するか、点検口を設けて同時に固定してください。
- ②インターフェイス本体はできるだけユニットの電気部品箱の付近に設置してください。
- ③取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー④によりまとめてください。

電気品箱  
インターフェイス①

### (4) 壁埋込形

**ご注意**

- ①インターフェイス本体を取付ける場合には、サービスできるように開口部付近の柱・壁等に固定用金具を使って固定するか、点検口を設けて同時に固定してください。
- ②取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー④によりまとめてください。

ユニットの天井面に乗せる  
アダプタ

# 遠隔制御用インターフェイス

## 6.5 遠隔制御用インターフェイスを使用した集中コントロール

### (1) 適用機種および接続要領一覧表

MAC-374IFを使用する場合																			
<p><b>グループF</b></p> <p>MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VX32J,VX32JS MSZ-VX40JS,VX40JD MSZ-VX50JS,VX50JD MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS MSZ-VS40JS,VS50JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J MSZ-GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN MTZ-40GS-IN,32GS-IN MTZ-22GX,S,25GX,S,28GX,S,32GX,S MTZ-40GX,S MSZ-22GX,S,25GX,S,28GX,S,32GX,S MSZ-40GX,S,50GX,S MLZ-22GS-IN,25GS-IN MSZ-MX208X,MX208XP,MX228XS MSZ-MX228XSP,MX258XS MSZ-MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS MSZ-VX288XS,VX328XS,VX408XS MLZ-22FX,S,25FX,S,28FX,S,32FX,S MLZ-40FX,S MSH-2237L,2837LS MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN MLZ-5017S-IN MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS MLZ-RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS MLZ-GX50JS</p>	<p>MAC-374IFに付属の中間接続基板は使用しません。</p> <p>MAC-374IFのディップスイッチSW501は下図のようになっています。</p> <table border="1"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF								
ON	1	2	3	4	5	6	7	8											
OFF																			
<p><b>グループB</b></p> <p>MSZ-VX28JD</p>	<p>中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。</p> <p>MAC-374IFのディップスイッチSW501は下図のようになっています。</p> <table border="1"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF								
ON	1	2	3	4	5	6	7	8											
OFF																			
<p><b>操作要領</b></p> <p>1) 初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 電源状態(ON/OFF)、運転モード、設定温度、風向、風速、パワー制御(通常/パワーセーブ)を記憶します。 2) 以後、記憶された運転内容で運転します。設定変更後は変更された運転内容を記憶します</p>	<p><b>運転モード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。</li> <li>● 運転モードの切替はワイヤレスリモコンで切り換えてください。</li> <li>● 長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。</li> <li>● 本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)</li> </ul>																		
<p><b>ご注意</b> 表中のグループ表示は据付説明書に準じています。</p>																			

\*信号線の接続に注意してください。  
誤って接続すると「動作しない」、「表示が消えない」といった症状になります。



## 6.6 遠隔制御用インターフェイスを使用した遠方コントロール

### (1) 常時接点对応

電灯スイッチのような入・切の切換スイッチを用いて、エアコンの運転・停止を行うことができます。スイッチを含めた遠隔操作部は現地に調達・配線してください。

- ①無電圧常時接点(運転/停止)  
無電圧常時接点による運転/停止が可能です。

MAC-374IFを使用する場合																			
<p><b>グループF</b></p> <p>MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VX32J,VX32JS MSZ-VX40J,VX40JD MSZ-VX50J,VX50JD MSZ-VS22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VS40J,VX50JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J MSZ-GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN MTZ-40GS-IN,32GS-IN MTZ-22GX,25GX,28GX,32GX MTZ-40GX MSZ-22GX,25GX,28GX,32GX MSZ-40GX,50GX MLZ-22GS-IN,25GS-IN MSZ-MX208X,MX208XP,MX228XS MSZ-MX228XSP,MX258XS MSZ-MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS MSZ-VX288XS,VX328XS,VX408XS MLZ-22FXS,25FXS,28FXS,32FXS MLZ-40FXS MSH-2237L,2837LS MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN MLZ-5017S-IN MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS MLZ-RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS MLZ-GX50JS</p>	<p>MAC-374IF付属の中間接続基板は使用しません。</p> <p>MAC-374IFのデッブスイッチSW5011は下図のようにしてください。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF	■	■	■	■	■	■	■	■
ON	1	2	3	4	5	6	7	8											
OFF	■	■	■	■	■	■	■	■											
<p><b>グループB</b></p> <p>MSZ-VX28JD</p>	<p>中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。</p> <p>MAC-374IFのデッブスイッチSW5011は下図のようにしてください。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF	■	■	■	■	■	■	■	■
ON	1	2	3	4	5	6	7	8											
OFF	■	■	■	■	■	■	■	■											
<p>現地調達の仕様</p>	<p>スイッチ</p> <p>片切スイッチ(a接点)(10mA位)</p>																		
<p>信号延長ケーブル</p>	<p>CN591に接続する部分が同梱されています。 必要に応じて延長してください。</p>																		
<p>操作要領</p>	<p>1)初期設定 お手元のリモコンで希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 電源状態(ON/OFF)、運転モード、設定温度、風向、風速、パワー制御(通常/パワーセーブ)を記憶します。 2)以後、スイッチを短絡するとエアコンが記憶した運転内容で運転を始め、スイッチを開放するとエアコンが停止します。</p>																		
<p>運転モード</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。</li> <li>●運転モードの切換はワイヤレスリモコンで切り換えてください。</li> <li>●長期間使用していなかった場合には、再度リモコンで希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。</li> <li>●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)</li> </ul>																		

# 遠隔制御用インターフェイス

- ①無電圧常時接点(運転/停止)  
無電圧常時接点による運転/停止が可能です。

**MAC-374IFを使用する場合**

**グループE**  
MLZ-2804S-IN,3204S-IN,4004S-IN

中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。

遠隔制御用インターフェイス  
MAC-374IF

ジャンパー線 (JPC) カット

電源DC12V

スイッチ

ルームエアコン

室内制御基板

受光基板

コネクタ

中間接続基板

現地での電源接続は不要です。

受光基板から室内制御基板のCN109に接続されているリード線を中間接続基板のCN14に差替えてください。

MAC-374IFのディップスイッチSW501は下図のようになっています。

	1	2	3	4	5	6	7	8
ON	■	■	■	■	■	■	■	■
OFF	■	■	■	■	■	■	■	■

現 地 調 運 部 の 仕 様	スイッチ	片切スイッチ(a接点)(10mA位)
	信号延長ケーブル	CN591に接続する部分が同梱されています。 必要に応じて延長してください。
操 作 要 領	<p>1)初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 電源状態(ON/OFF)、運転モード、設定温度、風向、風速、パワー制御(通常/パワーセーブ)を記憶します。</p> <p>2)以後、スイッチを短絡するとエアコンが記憶した運転内容で運転を始め、スイッチを開放するとエアコンが停止します。</p>	
運 転 モ ー ド	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。</li> <li>●運転モードの切替はワイヤレスリモコンで切り換えてください。</li> <li>●長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。</li> <li>●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)</li> </ul>	

# 遠隔制御用インターフェイス

## ②無電圧常時接点(温調制御)

無電圧常時接点による運転/停止および温調制御が可能です。

MAC-374IFを使用する場合	
<p><b>グループA</b></p> <p>MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VX32J,VX32JS MSZ-VX40JS,VX40JD MSZ-VX50JS,VX50JD MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS MSZ-VS40JS,VS50JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J MSZ-GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN MTZ-40GS-IN,32GS-IN MTZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS MTZ-40GXS MSZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS MSZ-40GXS,50GXS MLZ-22GS-IN,25GS-IN MSZ-MX208X,MX208XP,MX228XS MSZ-MX228XSP,MX258XS MSZ-MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS MSZ-VX288XS,VX328XS,VX408XS MLZ-22FXS,25FXS,28FXS,32FXS MLZ-40FXS MSH-2237L,2837LS MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN MLZ-5017S-IN MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS MLZ-RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS MLZ-GX50JS</p>	<p>MAC-374IF付属の中間接続基板は使用しません。</p> <p>MAC-374IFのデッブスイッチSW5011は下図のようになっています。</p>
<p><b>グループB</b></p> <p>MSZ-VX28JD</p>	<p>中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。</p> <p>MAC-374IFのデッブスイッチSW5011は下図のようになっています。</p>
<p>現地調達部品 の仕様</p>	<p>冷暖切換→片切スイッチ (10mA位) 温度切換→ロータリースイッチ等 (同時に2つの接点がONするロータリースイッチは使用しないでください。)</p>
<p>信号延長ケーブル</p>	<p>CN591に接続する部分が同梱されています。 必要に応じて延長してください。</p>
<p>操作要領</p>	<p>下記運転モードにより、スイッチを短絡または開放し、ご希望の運転状態にセットしてください。 ●スイッチを全て開放した場合は、開放する前の状態を維持します。</p>
<p>運転モード</p>	<p>停止 運転 (温度低) → 20℃ (冷房強/暖房弱) 運転 (温度中) → 24℃ (冷房中/暖房中) 運転 (温度高) → 28℃ (冷房弱/暖房強) 冷暖切換→開放: 冷房、短絡: 暖房</p> <p>※運転の3段階切換は温調切換です。たとえば運転を(温度低)に設定した場合、冷房時は強運転となりますが、暖房時では弱運転となります。(冷房と暖房とで運転のしかたが逆転しますのでご注意ください。)</p> <p>●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)</p>

# 遠隔制御用インターフェイス

## ②無電圧常時接点(温調制御)

無電圧常時接点による運転/停止および温調制御が可能です。

**MAC-374IFを使用する場合**

**グループE**  
MLZ-2804S-IN,3204S-IN,4004S-IN

中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。

受光基板から室内制御基板のCN109に接続されているリード線を中間接続基板のCN14に替えてください。

MAC-374IFのデッブスイッチSW501は下図のようになっています。

	1	2	3	4	5	6	7	8
ON			■	■	■	■	■	■
OFF	■	■						■

現地調達の仕様	スイッチ	冷暖切換→片切スイッチ (10mA位) 温度切換→ロータリースイッチ等 (同時に2つの接点がONするロータリースイッチは使用しないでください。)
	信号延長ケーブル	CN591に接続する部分が同梱されています。 必要に応じて延長してください。
操作要領	下記運転モードにより、スイッチを短絡または開放し、ご希望の運転状態にセットしてください。 ●スイッチを全て開放した場合は、開放する前の状態を維持します。	
運転モード	停止 運転 (温度低) → 20℃ (冷房強/暖房弱) 運転 (温度中) → 24℃ (冷房中/暖房中) 運転 (温度高) → 28℃ (冷房弱/暖房強) 冷暖切換→開放: 冷房、短絡: 暖房 ●本システムは後入力の有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)	※運転の3段階切換は温調切換です。たとえば運転を(温度低)に設定した場合、冷房時は強運転となりますが、暖房時では弱運転となります。 (冷房と暖房とで運転のしかたが逆転しますのでご注意ください。)

# 遠隔制御用インターフェイス

③有電圧常時接点(配線長100m未満)  
エアコンの運転・停止と運転状況のモニターができます。

### MAC-374IFを使用する場合

#### グループF

MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS  
MSZ-VX32J,VX32JS  
MSZ-VX40JS,VX40JD  
MSZ-VX50JS,VX50JD  
MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS  
MSZ-VS40JS,VS50JS  
MSZ-KS20J  
MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J  
MSZ-GXV28JS  
MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN  
MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN  
MTZ-40GS-IN,32GS-IN  
MTZ-22GX,S,25GX,S,28GX,S,32GX,S  
MTZ-40GX,S  
MSZ-22GX,S,25GX,S,28GX,S,32GX,S  
MSZ-40GX,S,50GX,S  
MLZ-22GS-IN,25GS-IN  
MSZ-MX208X,MX208XP,MX228XS  
MSZ-MX228XSP,MX258XS  
MSZ-MX258XSP,MX288XSP  
MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS  
MSZ-VX288XS,VX328XS,VX408XS  
MLZ-22FX,S,25FX,S,28FX,S,32FX,S  
MLZ-40FX,S  
MSH-2237L,2837LS  
MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN  
MLZ-5017S-IN  
MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS  
MLZ-RX50JS  
MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS  
MLZ-GX50JS

MAC-374IF付属の中間接続基板は使用しません。

MAC-374IFのデブスイッチSW501は下図のようになっています。

ON	1	2	3	4	5	6	7	8
OFF								

---

#### グループB

MSZ-VX28JD

中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。

MAC-374IFのデブスイッチSW501は下図のようになっています。

ON	1	2	3	4	5	6	7	8
OFF								

---

現地調達部品の仕様	DC電源	5V	12V	24V	・電源電圧の値により使用する抵抗値が変わりますのでご注意ください。 ・左記抵抗値は使用する場合、DC電源出力は2W以上のものをご使用ください。 <DC電源具体例> TDK株式会社製 EAK05-3R0G(出力DC5V・15W 接続端子ｼﾞｯｸ式) EAK12-1R3G(出力DC12V・15W 接続端子ｼﾞｯｸ式) EAK24-0R7G(出力DC24V・15W 接続端子ｼﾞｯｸ式) FMP05-R60(出力DC5V・3W 接続端子ﾌﾞﾗｽﾄﾞ端子式) FMP12-R25(出力DC12V・3W 接続端子ﾌﾞﾗｽﾄﾞ端子式) FMP24-R13(出力DC24V・3W 接続端子ﾌﾞﾗｽﾄﾞ端子式) 問い合わせ先 TDK株式会社 電源営業推進部 TEL (03)-5201-7206
	抵抗1	390Ω	1.2kΩ	2.4kΩ	
		1/4W	1/4W	1/2W	
	抵抗2	300Ω	1.2kΩ	2.4kΩ	
		1/4W	1/4W	1/2W	
スイッチ	片切スイッチ(A接点) (10mA位)				
LED (モタラク)	発光ダイオード (10mA位で点灯するもの)				

---

操作要領

1)初期設定  
お手持のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください)  
電源状態(ON/OFF)、運転モード、設定温度、風向、風速、パワー制御(通常/パワーセーブ)を記憶します。

2)以後、スイッチを短絡するとエアコンが記憶した運転内容で運転を始め、スイッチを開放するとエアコンが停止します。

3)LEDは運転の時に点灯、停止の時に消灯します。

---

運転中

- 前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。
- 運転モードの切換はワイヤレスリモコンで切り換えてください。
- 長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。
- 本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)

---

ご注意

エアコンの運転/停止スイッチとアダプタの配線距離が100m以内でもビルの1Fから3Fなど強電界を信号線が通る場合には、リレーを用いてリレー電源のON/OFFによりエアコンの運転/停止を行ってください。この時リレー基板(現地調達)とアダプタとの配線距離はできるだけ短くしてください。(次頁を参照してください。)

# 遠隔制御用インターフェイス

## ④有電圧常時接点(配線長100m以上)

外部信号による運転/停止および配線長さが100mを超える場合

制御部(TC1,TC2に接続)はリレー基板を追加することにより100m以上に延長することができますが、表示部(TM1,TM2に接続)は延長(100m以上)することができません。

### MAC-374IFを使用する場合

#### グループ

MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS  
MSZ-VX32J,VX32JS  
MSZ-VX40J,VX40JD  
MSZ-VX50J,VX50JD  
MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS  
MSZ-VS40J,VS50JS  
MSZ-KS20J  
MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J  
MSZ-GXV28JS  
MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN  
MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN  
MTZ-40GS-IN,32GS-IN  
MTZ-22GX,25GX,28GX,32GX  
MTZ-40GX  
MSZ-22GX,25GX,28GX,32GX  
MSZ-40GX,50GX  
MLZ-22GS-IN,25GS-IN  
MSZ-MX208X,MX208XP,MX228X  
MSZ-MX228XSP,MX258X  
MSZ-MX258XSP,MX288XSP  
MSZ-VX208X,VX228X,VX258X  
MSZ-VX288X,VX328X,VX408X  
MLZ-22FXS,25FXS,28FXS,32FXS  
MLZ-40FXS  
MSH-2237L,2837LS  
MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN  
MLZ-5017S-IN  
MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS  
MLZ-RX50JS  
MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS  
MLZ-GX50JS

MAC-374IF付属の中間接続基板は使用しません。

MAC-374IFのディップスイッチSW501は下図のように入れてください。

ON	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
OFF	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

---

#### グループB

MSZ-VX28JD

中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。

MAC-374IFのディップスイッチSW501は下図のように入れてください。

ON	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
OFF	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

---

現地調運部品の仕様	DC電源	5V	12V	24V	<p>・電源電圧の値により使用する抵抗値が変わりますのでご注意ください。                  ・左記抵抗値は使用する場合、DC電源出力は2W以上のものをご使用ください。                  &lt;DC電源具具体例&gt;                  TDK株式会社製                  EAK05-3R0G(出力DC5V・15W 接続端子ソケット)                  EAK12-1R3G(出力DC12V・15W 接続端子ソケット)                  EAK24-0R7G(出力DC24V・15W 接続端子ソケット)                  FMP05-R60(出力DC5V・3W 接続端子ファスト端子式)                  FMP12-R25(出力DC12V・3W 接続端子ファスト端子式)                  FMP24-R13(出力DC24V・3W 接続端子ファスト端子式)                  問い合わせ先                  TDK株式会社 電源営業推進部 TEL (03)-5201-7206</p>
	抵抗	390Ω 1/4W	1.2kΩ 1/4W	2.4kΩ 1/2W	
	リレー	リレーの接点は接点定格電流が10mA位のものを使用してください。			

---

**操作要領**

1)初期設定  
 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください)  
 電源状態(ON/OFF)、運転モード、設定温度、風向、風速、パワー制御(通常/パワーセーブ)を記憶します。  
 2)以後、リレー接点を短絡するとエアコンが記憶した運転内容で運転を始め、リレー接点を開放するとエアコンが停止します。

**運転モード**

- 前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。
- 運転モードの切替はワイヤレスリモコンで切り換えてください。
- 長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。
- 本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)

## (2) 瞬時接点对応

タクトスイッチ (押すごとに運転・停止を繰り返す方式) を用いて、エアコンの運転・停止および表示を行うことができます。タクトスイッチ含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください。

**MAC-374IFを使用する場合**

<p style="text-align: center;"><b>グループ</b></p> <p>MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VX32J,VX32JS MSZ-VX40JS,VX40JD MSZ-VX50JS,VX50JD MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS MSZ-VS40JS,VS50JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J MSZ-GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN MTZ-40GS-IN,32GS-IN MTZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS MTZ-40GXS MSZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS MSZ-40GXS,50GXS MLZ-22GS-IN,25GS-IN MSZ-MX208X,MX208XP,MX228XS MSZ-MX228XSP,MX258XS MSZ-MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS MSZ-VX288XS,VX328XS,VX408XS MLZ-22FXS,25FXS,28FXS,32FXS MLZ-40FXS MSH-2237L,2837LS MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN MLZ-5017S-IN MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS MLZ-RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS MLZ-GX50JS</p>	<p>MAC-374IF付属の中間接続基板は使用しません。</p> <p>遠隔制御用インターフェイス MAC-374IF</p> <p>スイッチ 抵抗1 抵抗2 LED DC電源</p> <p>JPA JPB TB571</p> <p>5 CN104</p> <p>JHA</p> <p>信号線 MAX100m</p> <p>TB571を使用するときは ジャンパー線JPA,JPBを 切断する。</p> <p>ルームエアコン室内制御基板</p> <p>ジャンパJHAを切断する</p> <p>MAC-374IFのデップスイッチSW501は下図のようになっています。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF	■	■	■	■	■	■	■	■		
ON	1	2	3	4	5	6	7	8													
OFF	■	■	■	■	■	■	■	■													
<p style="text-align: center;"><b>グループB</b></p> <p>MSZ-VX28JD</p>	<p>中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。</p> <p>遠隔制御用インターフェイス MAC-374IF</p> <p>スイッチ 抵抗1 抵抗2 LED DC電源</p> <p>JPA JPB TB571</p> <p>5 6 4 CN104 CN125</p> <p>中間接続基板</p> <p>ルームエアコン</p> <p>室内制御基板</p> <p>受光基板</p> <p>コネクタ</p> <p>中間接続基板のCN22に接続しているリード線を 室内制御基板のCN125に接続してください。</p> <p>TB571を使用 するときは ジャンパー線 JPA,JPBを 切断する。</p> <p>室内制御基板と受光基板を接続する リード線の室内制御基板側をははして 中間接続基板のCN125に接続してください。</p> <p>MAC-374IFのデップスイッチSW501は下図のようになっています。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> <td>■</td> </tr> </table>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF	■	■	■	■	■	■	■	■		
ON	1	2	3	4	5	6	7	8													
OFF	■	■	■	■	■	■	■	■													
<p style="text-align: center;"><b>現地調達部品の仕様</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>DC電源</td> <td>5V</td> <td>12V</td> <td>24V</td> </tr> <tr> <td>抵抗1</td> <td>390Ω 1/4W</td> <td>1.2kΩ 1/4W</td> <td>2.4kΩ 1/2W</td> </tr> <tr> <td>抵抗2</td> <td>300Ω 1/4W</td> <td>1.2kΩ 1/4W</td> <td>2.4kΩ 1/2W</td> </tr> <tr> <td>タクト スイッチ</td> <td colspan="3">押した時だけ接点が閉じるスイッチ (容量10mA位)</td> </tr> <tr> <td>LED (モタラフ*)</td> <td colspan="3">発光ダイオード (10mA位で点灯するもの)</td> </tr> </table> <p>・電源電圧の値により使用する抵抗値が変わりますのでご注意ください。 ・左記抵抗値は使用する場合、DC電源出力は2W以上のものをご使用ください。 (DC電源具体例) TDK株式会社製 EAK05-3R0G(出力DC5V・15W 接続端子ソケット) EAK12-1R3G(出力DC12V・15W 接続端子ソケット) EAK24-0R7G(出力DC24V・15W 接続端子ソケット) FMP05-R60(出力DC5V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP12-R25(出力DC12V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP24-R13(出力DC24V・3W 接続端子ファスト端子式) 問い合わせ先 TDK株式会社 電源営業推進部 TEL (03)-5201-7206</p>	DC電源	5V	12V	24V	抵抗1	390Ω 1/4W	1.2kΩ 1/4W	2.4kΩ 1/2W	抵抗2	300Ω 1/4W	1.2kΩ 1/4W	2.4kΩ 1/2W	タクト スイッチ	押した時だけ接点が閉じるスイッチ (容量10mA位)			LED (モタラフ*)	発光ダイオード (10mA位で点灯するもの)			<p style="text-align: center;"><b>操作要領</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください。) 電源状態(ON/OFF)、運転モード、設定温度、風向、風速、パワー制御(通常/パワーセーブ)を記憶します。</li> <li>以後、スイッチを押す毎にエアコンが記憶した運転内容で運転・停止を繰り返します。</li> <li>スイッチはタクト式ですので、運転モニター用の表示(LED)は必ず接続してください。 LEDは運転の時に点灯、停止の時に消灯します。</li> <li>スイッチのON時間は100ms以上設けてください。</li> </ol>
DC電源	5V	12V	24V																		
抵抗1	390Ω 1/4W	1.2kΩ 1/4W	2.4kΩ 1/2W																		
抵抗2	300Ω 1/4W	1.2kΩ 1/4W	2.4kΩ 1/2W																		
タクト スイッチ	押した時だけ接点が閉じるスイッチ (容量10mA位)																				
LED (モタラフ*)	発光ダイオード (10mA位で点灯するもの)																				
<p style="text-align: center;"><b>運転モード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。</li> <li>● 運転モードの切替はワイヤレスリモコンで切り換えてください。</li> <li>● 一度期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。</li> <li>● 本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)</li> </ul>																					

# 遠隔制御用インターフェイス

## 6.7 遠隔制御用インターフェイスを使用した元電源発停

- (1) MAC-374IF基板上のSW501を元電源発停モードに設定します。(詳細は下図を参照ください)
- (2) エアコンの元電源ONでエアコンの元電源OFF前の状態になり、元電源OFFでエアコンが停止します。  
(但し、据え付け後1度もリモコン操作を行わなければ停止、停止中あるいは運転中にリモコン操作を行えば、その運転モードで運転します。)

MAC-374IFを使用する場合																			
<p><b>グループF</b></p> <p>MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VX32J,VX32JS MSZ-VX40J,VX40JD MSZ-VX50J,VX50JD MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS MSZ-VS40J,VS50JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J MSZ-GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN MTZ-40GS-IN,32GS-IN MTZ-22GX,25GX,28GX,32GX MTZ-40GX MSZ-22GX,25GX,28GX,32GX MSZ-40GX,50GX MLZ-22GS-IN,25GS-IN MSZ-MX208X,MX208XP,MX228X MSZ-MX228XSP,MX258X MSZ-MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS MSZ-VX288XS,VX328XS,VX408XS MLZ-22FXS,25FXS,28FXS,32FXS MLZ-40FXS MSH-2237L,2837LS MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN MLZ-5017S-IN MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS MLZ-RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS MLZ-GX50JS</p>	<p>MAC-374IF付属の中間接続基板は使用しません。</p> <p>遠隔制御用インターフェイス MAC-374IF</p> <p>ルームエアコン室内制御基板</p> <p>JHA</p> <p>ジャンパJHAを切断してください。</p> <p>MAC-374IFのデッブスイッチSW501は下図のようになっています。</p> <table border="1"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>■</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF	■							
ON	1	2	3	4	5	6	7	8											
OFF	■																		
<p><b>グループB</b></p> <p>MSZ-VX28JD</p>	<p>中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。</p> <p>遠隔制御用インターフェイス MAC-374IF</p> <p>ルームエアコン</p> <p>中間接続基板のCN22に接続しているリード線を室内制御基板のCN125に接続してください。</p> <p>室内制御基板</p> <p>受光基板</p> <p>コネクタ</p> <p>室内制御基板と受光基板を接続するリード線の室内制御基板側をはずして中間接続基板のCN121に接続してください。</p> <p>MAC-374IFのデッブスイッチSW501は下図のようになっています。</p> <table border="1"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>■</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF	■							
ON	1	2	3	4	5	6	7	8											
OFF	■																		

ご注意 表中のグループ表示は据付説明書に準じています。

- 運転モード**
- ①初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上は運転してください)この時にインターフェイスが以下の運転状態を記憶します。
  - ②以後エアコンの元電源ONで、記憶された運転状態で運転を始めます。  
電源状態(ON/OFF)、運転モード、設定温度、風向、風速、パワー制御(通常/パワーセーブ)を記憶します。
  - ③長期間ご使用していなかった時にはもう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。

元電源発停で、2台以上のエアコンを起動させる時には、同時起動とならないようなシステムとしてください。(ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください。)



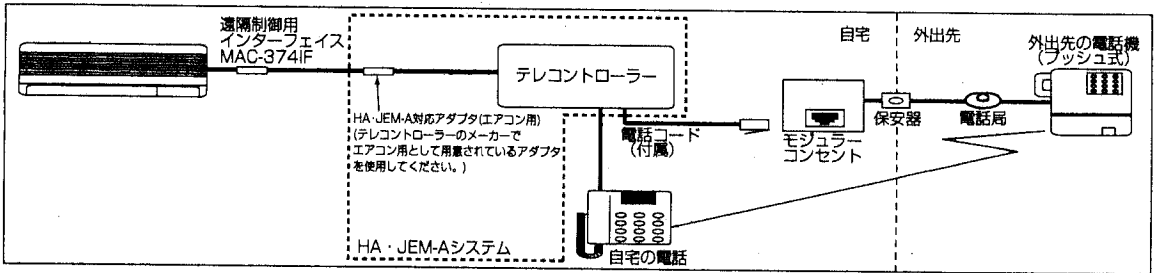
## 6.8 遠隔制御用インターフェイスを使用したHA・JEM-Aシステム(テレコントロール)

### (1)概要

遠隔制御用インターフェイスの基板上にHA・JEM-A対応端子(CN504)が搭載されています。この端子にHA・JEM-Aシステム(テレコントローラなど)を接続することができます。MAC-374IF適用機種が対象となります。

### (2)システム例：テレコントロール

テレコントロールの制御につきましてはメーカーにより異なりますのでテレコントローラの製造メーカーへお問い合わせください。また、テレコントローラを接続するために、テレコントローラのメーカーで用意されているエアコン用アダプタを使用してください。



### (3)接続図

MAC-374IFを使用する場合																												
<p><b>グループA</b></p> <p>MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VX32J,VX32JS,VX40JS,VX40JD MSZ-VX50JS,VX50JD MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS MSZ-VS40JS,VS50JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J,GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN MTZ-40GS-IN,32GS-IN MTZ-22GX,25GX,28GX,32GX,40GX MSZ-22GX,25GX,28GX,32GX MSZ-40GX,50GX MLZ-22GS-IN,25GS-IN MSZ-MX208X,MX208XP,MX228X MSZ-MX228XSP,MX258X MSZ-MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228X,VX258X MSZ-VX288X,VX328X,VX408X MLZ-22FXS,25FXS,28FXS,32FXS,40FXS MSH-2237L,2837LS MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN MLZ-5017S-IN MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS,RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS,GX50JS</p>	<p>MAC-374IF付属の中間接続基板は使用しません。</p> <p>HA・JEM-Aシステム</p> <p>遠隔制御用インターフェイス (MAC-374IF)</p> <p>HA・JEM-A対応端子</p> <p>5</p> <p>ルームエアコン室内制御基板</p> <p>CN104</p> <p>JHA</p> <p>ジャンパJHAを切断する。</p> <p>MAC-374IFのデッブスイッチSW501は下図のようにしてください。(4,5番のスイッチの設定は接続するHA・JEM-Aシステムにより異なります。) HA・JEM-Aシステム製造メーカーにお問い合わせください</p> <table border="1"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常時</td> <td>スティブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>瞬時</td> <td>スティブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF				常時	スティブ								瞬時	スティブ			
ON	1	2	3	4	5	6	7	8																				
OFF				常時	スティブ																							
				瞬時	スティブ																							
<p><b>グループB</b></p> <p>MSZ-VX28JD</p>	<p>中間接続基板はMAC-374IFに付属されています。</p> <p>HA・JEM-Aシステム</p> <p>遠隔制御用インターフェイス (MAC-374IF)</p> <p>5</p> <p>中間接続基板</p> <p>6</p> <p>ルームエアコン</p> <p>CN104</p> <p>CN125</p> <p>室内制御基板</p> <p>受光基板</p> <p>コネクタ</p> <p>6</p> <p>中間接続基板のCN22に接続しているリード線を室内制御基板のCN125に接続してください。</p> <p>MAC-374IFのデッブスイッチSW501は下図のようにしてください。(4,5番のスイッチの設定は接続するHA・JEM-Aシステムにより異なります。) HA・JEM-Aシステム製造メーカーにお問い合わせください</p> <table border="1"> <tr> <td>ON</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常時</td> <td>スティブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>瞬時</td> <td>スティブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>室内制御基板と受光基板を接続するリード線を室内制御基板のCN125に接続して、中間接続基板のCN12に接続してください。</p>	ON	1	2	3	4	5	6	7	8	OFF				常時	スティブ								瞬時	スティブ			
ON	1	2	3	4	5	6	7	8																				
OFF				常時	スティブ																							
				瞬時	スティブ																							
<p><b>操作要領</b></p>	<p>1)初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 電源状態(ON/OFF)、運転モード、設定温度、風向、風速、パワー制御(通常/パワーセーブ)を記憶します。 2)以後、記憶された運転内容で運転します。設定変更後は変更された運転内容を記憶します</p>																											
<p><b>運転モード</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。</li> <li>●運転モードの切替はワイヤレスリモコンで切り換えてください。</li> <li>●長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。</li> <li>●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)</li> </ul>																											

# 集中コントローラー用アダプタ

## 7.集中コントローラー用アダプタ MAC-835AD

ルームエアコン・ハウジングエアコン機種を各種システムコントロールに接続するためのインターフェイスです。

### 7.1 概要 (下記の機能は併用することができません。)

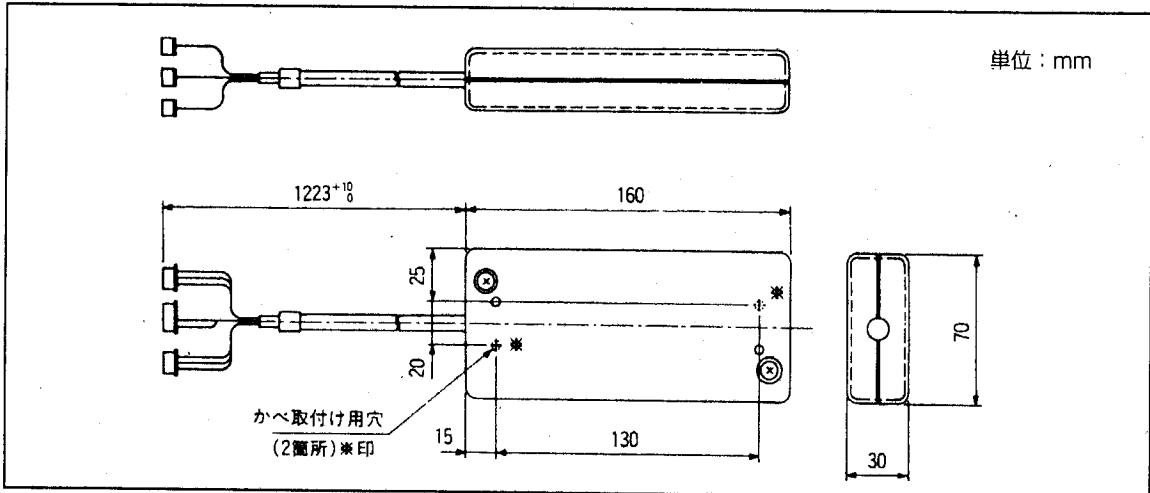
集中コントロール		
概要	集中コントローラー用アダプタと集中コントローラーを使用することにより、4台、6台、8台のエアコンの運転・停止/運転確認ができます。	
適用	集中コントローラー用アダプタ	MAC-835AD
	集中コントローラー	MAC-820SC,MAC-821SC,MAC-822SC
接続	最大8台の接続が可能です。 <集中コントローラーの接続台数> ※エアコン(室内機)1台につき集中コントローラーアダプタ1台必要です。	
	集中コントローラー	※エアコン(集中コントローラー用アダプタ)
	MAC-820SC	1~4台
	MAC-822SC	1~6台
	MAC-821SC	1~8台
元電源発停		
概要	ブレーカースイッチの入/切によりエアコンの運転・停止を行うものです。 停電後の自動復帰も可能となります。	
適用	集中コントローラー用アダプタ	MAC-835AD

### 7.2 製品仕様

#### (1)仕様表

項目	形名	MAC-835AD
電源	源	エアコン室内からの供給(DC5V)
外形寸法(長さ×高さ×奥行)(mm)		160×30×70
使用環境条件		0~40℃ 結露なきこと 屋内専用
通信線		3芯(推奨マイクロホンコード(MVVS)0.3mm <sup>2</sup> )
通信線配線距離		max100m
室内ユニット接続線		3芯(リモコン信号入力)+3芯(リモコン信号)+2芯(HAモニター)
製品質量(g)		200

#### (2)外形寸法図



# 集中コントローラー用アダプタ

**〈現地で用意していただく部品〉**

信号ケーブル、マイクロホンコードMVVS0.3mm<sup>2</sup>または相当品

## 7.3 集中コントローラー用アダプタの取付

**(1) 取付けの前に**

**〈信号ケーブルおよび配線部材について〉**

信号ケーブルおよび配線部材は右記仕様品または、同等品を別途お買い求めの上配線工事を行ってください。

信号ケーブルは、電力線からできるだけ離してください。

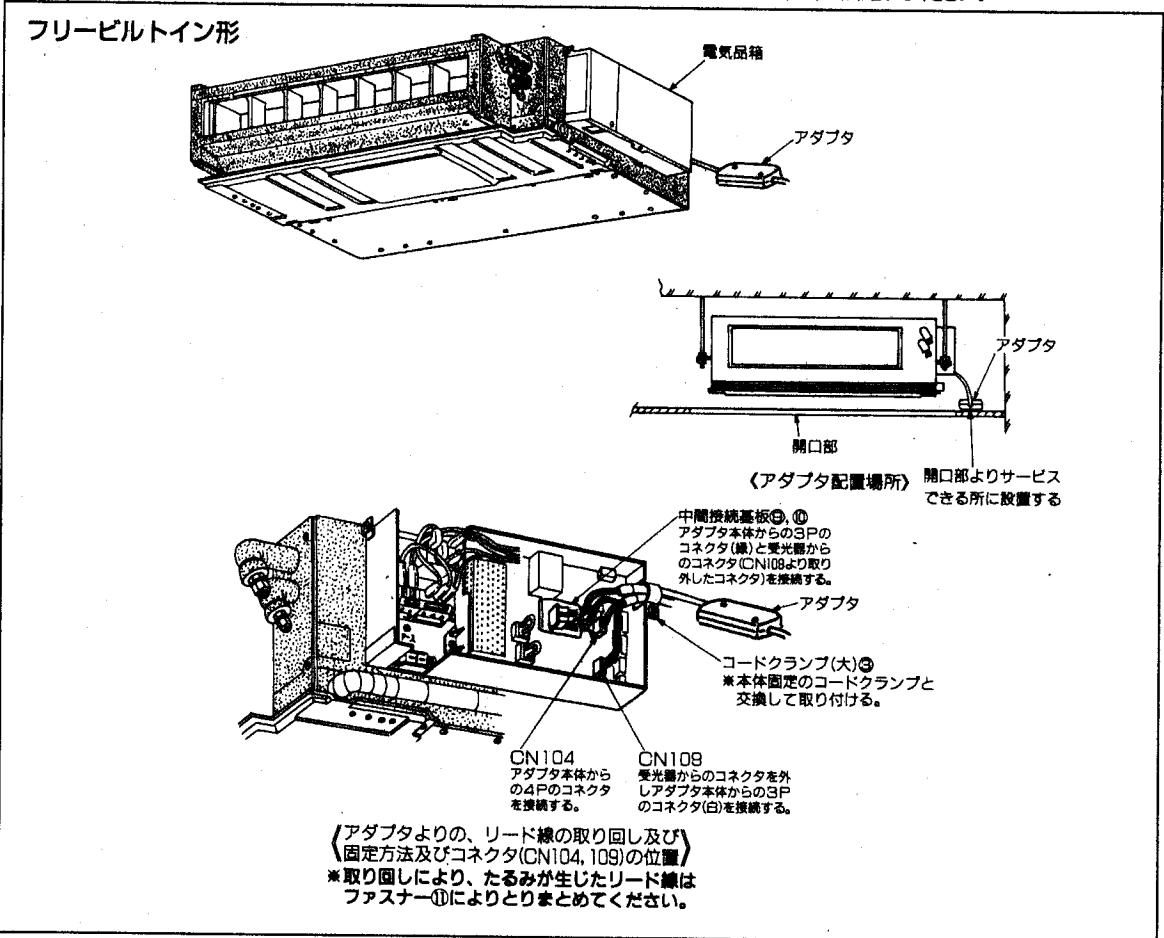
<b>信号ケーブル</b>
マイクロホンコード MVVS 0.3mm <sup>2</sup> または相当品

**(2) エアコンとアダプタの接続**

取付けを行う前に安全のためエアコンの室内ユニットの電源プラグをコンセントから抜いてください。

集中コントローラー用アダプタのコネクタとエアコンとの接続は、エアコンの据付説明書をご確認の上正しく行ってください。

※アダプタ本体の取付は固定用金具を本体へ取付け後、柱・壁等に4本のネジを使って確実に固定してください。



# 集中コントローラー用アダプタ

## 7.4 集中コントローラー用アダプタを使用した集中コントロール

### (1) 適用機種および接続要領一覧表

適用機種	接続要領
<p>MBZ-2814S-IN, 3214S-IN, 4014S-IN</p>	<p>本体はエアコン1台の場合を示します。                      エアコン1台につき、集中コントローラー用アダプタ(MAC-835AD)が1台必要です。</p> <p>接続要領図の注記:                      * アダプタ本体のリード線を上図の指定されているそれぞれのコネクタに差し込む。</p>

# 集中コントローラー用アダプタ

## 7.5 集中コントローラー用アダプタを使用した遠方コントロール

(1) 有電圧常時接点対応(配線長100m未満)  
 電灯スイッチのような入・切の切換スイッチを用いて、エアコンの運転・停止を行うことができます。  
 またモニタランプによるエアコンの運転状況のモニタを行います。  
 スイッチ・電源・モニタランプを含めた遠隔操作部は現地に調達・配線してください。

適用機種		接続要領			
MBZ-2814S-IN,3214S-IN,4014S-IN					
現地調達部品の仕様	DC電源	5V	12V	24V	・電源電圧の値により使用する抵抗値が変わりますのでご注意ください。 ・左記抵抗値は使用する場合、DC電源出力は2W以上のものをご使用ください。 <DC電源具体例> TDK株式会社製 EAK05-3R0G(出力DC5V・15W 接続端子ネジ式) EAK12-1R3G(出力DC12V・15W 接続端子ネジ式) EAK24-0R7G(出力DC24V・15W 接続端子ネジ式) FMP05-R60(出力DC5V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP12-R25(出力DC12V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP24-R13(出力DC24V・3W 接続端子ファスト端子式) 問い合わせ先 TDK株式会社 電源営業推進部 TEL (03)-5201-7206
	抵抗1	200Ω 1/4W	1.0kΩ 1/4W	2.0kΩ 1/2W	
	抵抗2	不要	470Ω 1/4W	1.2kΩ 1/2W	
	スイッチ	片切スイッチ(a接点) (10mA程度の電流が流せるもの)			
	LED (モニタランプ)	発光ダイオード (10~16mA位で点灯するもの)			
操作要領	1)初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 2)以後、スイッチを短絡するとエアコンが運転を始め、スイッチを開放するとエアコンが停止します。 3)LEDは運転の時に点灯、停止の時に消灯します。 4)ワイヤレスリモコンは操作部のスイッチが短絡のときだけ受信可能です。				
モード運転	●前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。 ●運転モードの切換はワイヤレスリモコンで切り換えてください。 ●長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。 ●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)				

## (2) 有電圧常時接点対応(配線長100m以上)

外部信号による運転/停止および配線の長さ100mを超える場合は以下の接続要領をお勧めします。(リレーの追加)  
 リレー・電源を含めた遠隔操作部は現地に調達・配線ください。  
 制御部(TC1,TC2に接続)はリレー基板を追加することにより100m以上に延長することができますが、表示部(TM1,TM2に接続)は延長(100m以上)することができません。

適用機種		接続要領			
MBZ-2814S-IN,3214S-IN,4014S-IN					
現地調達部品の仕様	DC電源	5V	12V	24V	・電源電圧の値により使用する抵抗値が変わりますのでご注意ください。 ・左記抵抗値は使用する場合、DC電源出力は2W以上のものをご使用ください。 <DC電源具体例> TDK株式会社製 EAK05-3R0G(出力DC5V・15W 接続端子ネジ式) EAK12-1R3G(出力DC12V・15W 接続端子ネジ式) EAK24-0R7G(出力DC24V・15W 接続端子ネジ式) FMP05-R60(出力DC5V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP12-R25(出力DC12V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP24-R13(出力DC24V・3W 接続端子ファスト端子式) 問い合わせ先 TDK株式会社 電源営業推進部 TEL (03)-5201-7206
	抵抗	200Ω 1/4W	1.0kΩ 1/4W	2.0kΩ 1/2W	
	リレー	リレーの接点は接点定格電流が10mA位のものを使用してください。			
操作要領	1)初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 2)以後、リレー接点を短絡するとエアコンが運転を始め、リレー接点を開放するとエアコンが停止します。 3)ワイヤレスリモコンは操作部のスイッチが短絡のときだけ受信可能です。				
モード運転	●前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。 ●運転モードの切換はワイヤレスリモコンで切り換えてください。 ●長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。 ●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)				
注意	エアコンの運転/停止スイッチとアダプタの配線距離が100m以内でもピルの1Fから3Fなど強電界を信号線が通る場合には、リレーを用いてリレー電源のON/OFFによりエアコンの運転/停止を行ってください。この時リレー基板(現地調達)とアダプタとの配線距離はできるだけ短くしてください。				

# 集中コントローラー用アダプタ

## (3) 有電圧瞬時接点对应(配線長100m未満)

タクトスイッチ(押すごとに運転/停止を繰り返す方式)を用いて、エアコンの運転/停止および表示を行うことができます。スイッチ・電源・モニタランプを含めた遠隔操作部は現地にて調達・配線してください

適用機種		接続要領			
MBZ-2814S-IN,3214S-IN,4014S-IN					
現地調達部品の仕様	DC電源	5V	12V	24V	・電源電圧の値により使用する抵抗値が変わりますのでご注意ください。 ・左記抵抗値は使用する場合、DC電源出力は2W以上のものをご使用ください。 <DC電源具体例> TDK株式会社製 EAK05-3R0G(出力DC5V・15W 接続端子ネジ式) EAK12-1R3G(出力DC12V・15W 接続端子ネジ式) EAK24-0R7G(出力DC24V・15W 接続端子ネジ式) FMP05-R60(出力DC5V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP12-R25(出力DC12V・3W 接続端子ファスト端子式) FMP24-R13(出力DC24V・3W 接続端子ファスト端子式) 問い合わせ先 TDK株式会社 電源営業推進部 TEL (03)-5201-7206
	抵抗1	200Ω 1/4W	1.0kΩ 1/4W	2.0kΩ 1/2W	
	抵抗2	不要	470Ω 1/4W	1.2kΩ 1/2W	
	タクトスイッチ	押した時だけ接点が閉じるスイッチ (10mA程度の電流が流せるもの)			
	LED (モニタランプ)	発光ダイオード (10~16mA位で点灯するもの)			
操作要領	1)初期設定 お手元のリモコンでご希望の運転状態にセットしてください。(10秒以上運転を続けてください) 2)以後、スイッチを押すごとにエアコンが運転/停止を繰り返します。 3)スイッチはタクト式ですので運転モニタ用の表示(LED)は必ず接続してください。 LEDは運転の時に点灯、停止の時に消灯します。				
運転モード	●前回のエアコンの運転状態を記憶していますので、エアコンは前回と同じモードで運転を始めます。 ●運転モードの切替はワイヤレスリモコンで切り換えてください。 ●長期間使用していなかった場合には、再度リモコンでご希望の運転状態にセットしてからご使用されることをお勧めします。 ●本システムは後入力が有効になります。(ワイヤレスリモコン入力制限不可)				

# 集中コントローラー用アダプタ

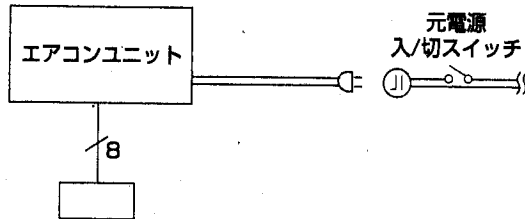
## 7.6 集中コントローラー用アダプタを使用した元電源発停

(1) 元電源発停で使用する場合

- ① アダプタ基板上的ジャンパー線(JPB)を切断します。
- ② エアコン本体との接続は集中コントローラー使用時と同じです。アダプタ端子台には接続の必要はありません。
- ③ エアコンの元電源ONでエアコンが運転を始め、元電源OFFでエアコンが停止します。

(2) 運転モード

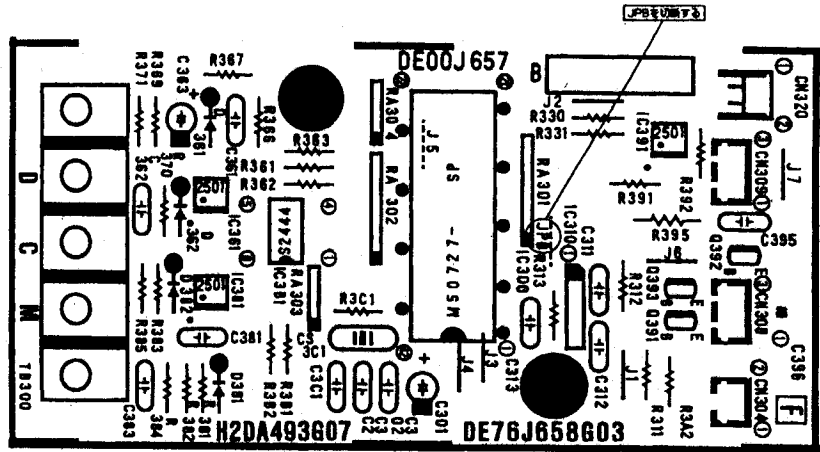
- ① 初めてお使いになる時は、一度お手元のリモコンで、ご希望の運転状態にセットしてください。  
この時に集中コントローラー用アダプタが運転状態を記憶します。
- ② 以降エアコンの元電源OFFで、記憶された運転状態で記憶します。
- ③ 長時間で使用していなかった時には、もう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをおすすめします。



適用機種
MBZ-2814S-IN, 3214S-IN, 4014S-IN

**別売** 集中コントローラー用アダプタ  
MAC-835AD  
(アダプタ+接続コネクタ)

<集中コントロール用アダプタ MAC-835AD基板>



**注意** 元電源発停で、2台以上のエアコンを起動させる時には、同時起動とならないようなシステムとしてください。  
(ラッシュ電流を避けるため、順次起動としてください。)

# 元電源発停

## 8.HA端子短絡による元電源発停

(遠隔制御インターフェイス・HAアダプタを使用しない元電源発停)

### 8.1 概要

インターフェイスやアダプタを使用せずに室内ユニットのHA端子(JEM-A)を短絡するだけで元電源発停を行います。

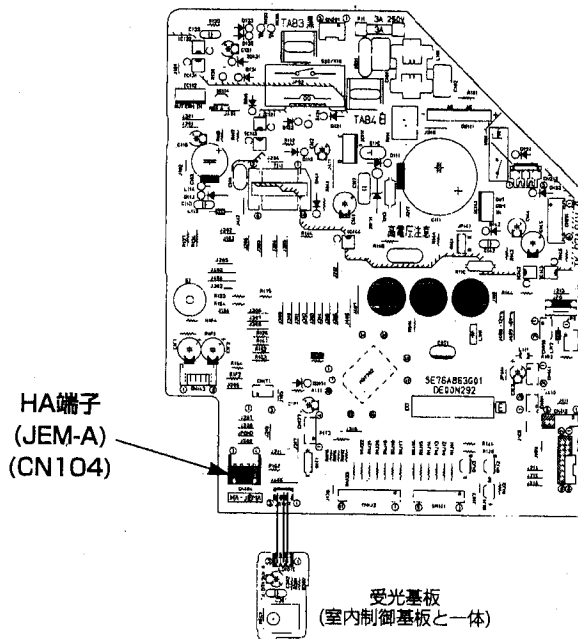
適用機種	
MSZ-WXV22J,WXV25J,WXV28J,WXV28JS MSZ-WXV36J,WXV36JS,WXV40JS,WXV50JS MSZ-GXV36J,GXV36JS,GXV40JS,GXV50JS	MSZ-LXV45JS,LXV56JS,LXV63JS
HA端子はあるが使用不可の機種(但しLMAC-374IFの使用により可能です。)	
MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VX28JD,VX32J,VX32JS MSZ-VX40JS,VX40JD,VX50JS,VX50JD MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS MSZ-VS40JS,VS50JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J,GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN MTZ-40GS-IN,32GS-IN MSZ-VX408XS MLZ-40FXS	MTZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS MTZ-40GXS MSZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS MSZ-40GXS,50GXS MLZ-22GS-IN,25GS-IN MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS,RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS,GX50JS MSZ-MX208X,MX208XP,MX228XS,MX228XSP MSZ-MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS,VX288XS,VX328XS, MSZ-VX408XS,

### 8.2 方法

(1)HA端子CN104(4ピン)の1番ピンと2番ピンを短絡します。

短絡するリード線の長さは3cm以内にしてください。長くとるとノイズによる誤動作の原因となります。

例)MSZ-WXV28J 室内制御基板



(2)初めて元電源ONした時(一度もリモコン操作が行われていない場合)にはエアコンは停止状態となります。必ずリモコンで運転ONにし、ご希望の運転モードに設定してください。(10秒以上は運転してください) 次回の元電源ONから、設定された運転モードで運転を開始します。

ご希望の運転モードは何回でも設定可能です。

長時間ご使用していなかった時にはもう一度リモコンでご希望の運転状態にセットすることをお勧めします。

### 8.3 動作

電源発停用としてメモリできる機能は下記のみです。

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| 1.電源状態(ON/OFF)     | 5.設定風速 |
| 2.運転モード(各運転モード)    | 6.上下風向 |
| 3.パワー制御(通常/パワーセーブ) | 7.左右風向 |
| 4.設定温度             |        |

この他の機能は全て通常になります。

タイマー運転はメモリできません。連続運転になります。



#### 8.4 お掃除モニター、フィルター交換ランプについてのご注意

適用機種
MSZ-WXV22J,WXV25J,WXV28J,WXV28JS MSZ-WXV36J,WXV36JS,WXV40JS,WXV50JS

元電源だけを使用して、運転と停止を繰り返した場合、アレルギーセンサ積算値と運転時間積算値が記憶されず、お掃除モニター、フィルター交換ランプが長時間経っても点灯しないことがあります。この場合は、エアフィルターは2週間から1ヶ月を目安にお掃除してください。また、大型イオン空清フィルターは1年を目安に交換してください。

# ロスナイ連動

## 9.ロスナイ連動

### 9.1 概要

エアコンの運転に連動してロスナイをON/OFFします。

### 9.2 対応機種

業務用ロスナイのマイコンタイプ・フリープランタイプ・マイコンタイプ<フリープラン対応形>

設備用ロスナイのマイコンタイプ、フリープランタイプ(LB-M2,F2とLPB)

注：家庭用は接続できません。

●対応できる「業務用ロスナイ」の形名について

形名の末尾付近にM2(マイコン)または、F2(フリープラン)または、X3(エックス=マイコンタイプ<フリープラン対応形>)が表記されているロスナイであれば対応できます。

※機種選択時にはマイコン・フリープラン・マイコン<フリープラン対応形>であることをご確認ください。

### 9.3 接続方法

適用形名	使用アダプタ	接続図
MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS MSZ-VX28JD,VX32J,VX32JS,VX40JS MSZ-VX40JD,VX50JS,VX50JD MSZ-VS22J,V325J,V328J,V328JS MSZ-VS40JS,V350JS MSZ-KS20J MSZ-GXV22J,GXV25J,GXV28J,GXV28JS MLZ-W40GS-IN,W50GS-IN,W56GS-IN MLZ-22GS-IN,25GS-IN MLZ-22FXS,25FXS,28FXS,32FXS,40FXS MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN,5017S-IN MTZ-22GS-IN,25GS-IN,28GS-IN,32GS-IN MTZ-40GS-IN MTZ-22GX,25GX,28GX,32GX,40GX MSZ-22GX,25GX,28GX,32GX,40GX MSZ-50GX MSZ-MX208X,MX208XP,MX228XS,MX228XSP MSZ-MX258XSP,MX288XSP MSZ-VX208X,VX228XS,VX258XS,VX288XS MSZ-VX328XS,VX408XS MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS,RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS,GX50JS	MAC-374IF	<p>※詳細についてはロスナイ技術資料でご確認ください。</p>
MSZ-WXV22J,WXV25J,WXV28J,WXV28JS MSZ-WXV36J,WXV36JS,WXV40JS,WXV50JS MSZ-LXV45JS,LXV56JS,LXV63JS MLZ-2804S-IN,3204S-IN,4004S-IN MBZ-2814S-IN,3214S-IN,4014S-IN MSZ-DXV25GX,DXV40GXSP MSZ-WX25FXS,WX40FXSP	MAC-815AD	<p>※詳細についてはロスナイ技術資料でご確認ください。</p>

### <M-NET制御による連動>

M-NET制御によるロスナイとの連動は集中コントローラ(MJ-103MTR)により設定できます。

詳細はMELANSテクニカルマニュアルを参照してください。

※単独設置によるM-NET制御でのロスナイ連動はできません。

# 個別運転の改造方法

## 10.'02年度ワイヤレスリモコン機種別の個別運転改造方法

下記形名のワイヤレスリモコンを4台まで同一の部屋に据付けた時、1つのリモコンで2台以上のエアコンが動くことを防ぐ為には、リモコン基板と室内制御基板の機番(発信コード)切り換えが必要です。

その改造内容を下記に示します。

### 10.1 適用形名一覧表

形 名	リモコン基板の改造		室内制御基板の改造
	リモコン基板の種類	リモコン基板の改造パターン	
MSZ-WX22J MSZ-WX40JS MSZ-WX25J MSZ-WX50JS MSZ-WXV36J MSZ-WX28J MSZ-WXV22J MSZ-WXV36JS MSZ-WX28JS MSZ-WXV25J MSZ-WXV40JS MSZ-WX36J MSZ-WXV28J MSZ-WXV50JS MSZ-WX36JS MSZ-WXV28JS	Wタイプ	改造パターン3	改造は不要ですが50頁の室内ユニット指定(グループA)を実施してください。
MSZ-DX22J MSZ-DX40JS MSZ-DX25J MSZ-DX50JS MSZ-DX28J MSZ-RX22J MSZ-DX28JS MSZ-RX25J MSZ-DX36J MSZ-RX28J MSZ-DX36JS	Vタイプ		
MSZ-VX32J MSZ-VS40JS MSZ-GXV36JS MSZ-VX32JS MSZ-VS50JS MSZ-GXV40JS MSZ-VX40JS MSZ-GXV36J MSZ-GXV50JS	Rタイプ		
MSZ-VX40JD MSZ-VX50JS MSZ-VX50JD	Kタイプ		
MSZ-HX22J MSZ-GXV25J MSZ-G22J MSZ-HX25J MSZ-GXV28J MSZ-G25J MSZ-HX28J MSZ-GXV28JS MSZ-G28J MSZ-HX28JS MSZ-CX22J MSZ-G28J MSZ-GXV22J MSZ-CX25J	Sタイプ		
MSZ-VX28JD	Eタイプ	改造パターン2	
MLZ-W40GS,W50GS MSZ-LXV56JS MLZ-W56GS MSZ-LXV63JS MSZ-LX45JS,LX56JS MSZ-DXV25GXS MSZ-LX63JS MSZ-DXV40GXSP MSZ-LXV45JS	Hタイプ	改造パターン8	51頁の室内ユニット指定(グループB)を実施してください。
MSZ-22GXS,25GXS MSZ-MX258XSP MSZ-28GXS,32GXS MSZ-MX288XSP MSZ-40GXS,50GXS MSZ-VX208X MSZ-MX208X MSZ-VX228XS MSZ-MX208XP MSZ-VX258XS MSZ-MX228XS MSZ-VX288XS MSZ-MX228XSP MSZ-VX328XS MSZ-MX258XS MSZ-VX408XS	Kタイプ	改造パターン5	改造は不要ですが50頁の室内ユニット指定(グループA)を実施してください。
MTZ-22GS,25GS MTZ-22GXS,25GXS MTZ-28GS,32GS,40GS MTZ-28GXS,32GXS MLZ-22GS,25GS MTZ-40GXS	Lタイプ	改造パターン6	改造は不要ですが51頁の室内ユニット指定(グループB)を実施してください。
MLZ-22FXS,25FXS MLZ-40FXS MLZ-28FXS,32FXS			
MLZ-2817S-IN,3217S-IN,4017S-IN,5017S-IN	Nタイプ	改造パターン4	改造は不要ですが50頁の室内ユニット指定(グループA)を実施してください。
MSH-2237L,2837LS	Jタイプ	改造パターン2	
MLZ-2804S-IN,3204S-IN,4004S-IN	Aタイプ	改造パターン4	
MFZ-2814XS,3214XS,4014XS	Tタイプ	改造パターン2	改造パターン①(50頁参照)
MBZ-2814S-IN,3214S-IN,4014S-IN	Uタイプ		改造パターン②(50頁参照)
MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS,RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS,GX50JS	Lタイプ	改造パターン4	改造は不要ですが51頁の室内ユニット指定(グループB)を実施してください。
MSZ-VS22J,VS25J,VS28J,VS28JS MSZ-KS20J MSZ-VX22J,VX25J,VX28J,VX28JS	Xタイプ	改造パターン3	

# 個別運転の改造方法

## 10.2 リモコン基板の改造

電池をぬき、運転/停止ボタンを2、3回押してください。(目的は基板内に溜まっている電荷を放電させるためです。) また、リセットボタンを設けてあるものは、リセットボタンを押してから改造を行ってください。リモコン基板の改造パターンにより改造方法が異なります。形名に応じて次に示すパターンの要領で改造を行ってください。

### 《改造パターン2》

- (1) 付属のリモコンは、全てJ28側にチップ部品が実装され、J21側には何も実装されていません。
- (2) 個別運転したい台数に応じ、J28側のチップ部分はずし、J21側にジャンパー線を取り付けてください。  
注1. 必ず電池をぬき、**運転/停止**ボタンを2~3回押した後、実施してください。  
注2. リセットボタンのあるものに関しては、電池装着後リセットボタンを必ず押してください。
- (3) J10・J11又はJ20・J21のどちらかは、必ず取り付けられていることを確認願います。  
(どちらも取り付けられていたり、取り付けしていない場合、誤動作することがあります。)
- (4) 標準組み合わせ表 (リモコン基板)

号機 \ 台数	1台運転	2台運転	3台運転	4台運転
1号機	改造なし 出荷仕様	←	←	←
2号機		J10削除J11接続	←	←
3号機			J20削除J21接続	←
4号機				J10・J20削除J11・J21接続

### 《改造パターン3》

- (1) リモコン基板上に、**J1**、**J2**のシルク印刷が施してあります。
- (2) 個別運転したい台数に応じ**J1**、**J2**をハンダで接続してください。  
注1. 必ず電池をぬき、**運転/停止**ボタンを2~3回押した後、実施してください。  
注2. リセットボタンのあるものに関しては、電池装着後リセットボタンを必ず押してください。
- (3) 標準組み合わせ表 (リモコン基板)

号機 \ 台数	1台運転	2台運転	3台運転	4台運転
1号機	改造なし 出荷仕様	←	←	←
2号機		J1接続	←	←
3号機			J2接続	←
4号機				J1接続・J2接続

## 個別運転の改造方法

### 〈改造パターン4〉

- (1) リモコン基板上に、**JP1**、**JP2**のシルク印刷が施してあります。
- (2) 付属のリモコンは**JP1**、**JP2**の位置にジャンパー線が実装されています。
- (3) 個別運転したい台数に応じ**JP1**、**JP2**のジャンパー線をニッパー等で切断してください。  
 注1. 必ず電池をぬき、**運転/停止**ボタンを2~3回押した後、実施してください。  
 注2. リセットボタンのあるものに関しては、電池装着後リセットボタンを必ず押してください。
- (4) 標準組み合わせ表 (リモコン基板)


号機 \ 台数	1台運転	2台運転	3台運転	4台運転
1号機	改造なし 出荷仕様	←	←	←
2号機		JP1切断	←	←
3号機			JP2切断	←
4号機				JP1切断・JP2切断

### 〈改造パターン5〉

- (1) リモコン基板上に、**J1**、**J2**のシルク印刷が施してあります。
- (2) 個別運転したい台数に応じ**J1**、**J2**を半田で接続してください。  
 注1. 必ず電池をぬき、**運転/停止**ボタンを2~3回押した後、実施してください。  
 注2. リセットボタンのあるものに関しては、電池装着後リセットボタンを必ず押してください。
- (3) 標準組み合わせ表 (リモコン基板)

号機 \ 台数	1台運転	2台運転	3台運転	4台運転
1号機	改造なし 出荷仕様	←	←	←
2号機		注.リモコンスイッチで設定 改造の必要なし	←	←
3号機			J2接続	←
4号機				J1接続・J2接続

注.リモコンの室内機切換ボタンで設定することができます。

1回押すごとに  の順に変わります。

# 個別運転の改造方法

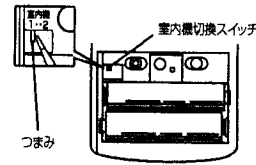
## 〈改造パターン6〉

- (1) リモコン基板上に、**J1**、**J2**にチップ部品が実装されています。
- (2) 個別運転したい台数に応じ**J1**、**J2**のチップ部品をはずしてください。  
 注1. 必ず電池をぬき、**運転/停止** ボタンを2~3回押した後、実施してください。  
 注2. リセットボタンのあるものに関しては、電池装着後リセットボタンを必ず押してください。
- (3) 標準組合わせ表 (リモコン基板)

号機 \ 台数	1台運転	2台運転	3台運転	4台運転
1号機	改造なし 出荷仕様	←	←	←
2号機		注.リモコンスイッチで設定 改造の必要なし	←	←
3号機			J2削除	←
4号機				J1削除・J2削除

### ●室内機切換の仕方

室内機切換スイッチを細いドライバーの先などでつまみを切換えてください。



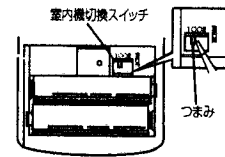
## 〈改造パターン8〉

- (1) 付属のリモコンは、全て **J20** 側にチップ部品が実装され、**J21** 側には何も実装されていません。
- (2) 個別運転したい台数に応じ、**J20** 側のチップ部分をはずし、**J21** 側にジャンパー線を取り付けてください。  
 注1. 必ず電池をぬき、**運転/停止** ボタンを2~3回押した後、実施してください。  
 注2. リセットボタンのあるものに関しては、電池装着後リセットボタンを必ず押してください。
- (3) **J10**・**J11**又は**J20**・**J21**のどちらかは、必ず取り付けられていることを確認願います。  
 (どちらも取り付けられていたり、取り付けしていない場合、誤動作することがあります。)
- (4) 標準組合わせ表 (リモコン基板)

号機 \ 台数	1台運転	2台運転	3台運転	4台運転
1号機	改造なし 出荷仕様	←	←	←
2号機		注.リモコンスイッチで設定 改造の必要なし	←	←
3号機			J20削除・J21接続	←
4号機				J10・J20削除・J11・J21接続

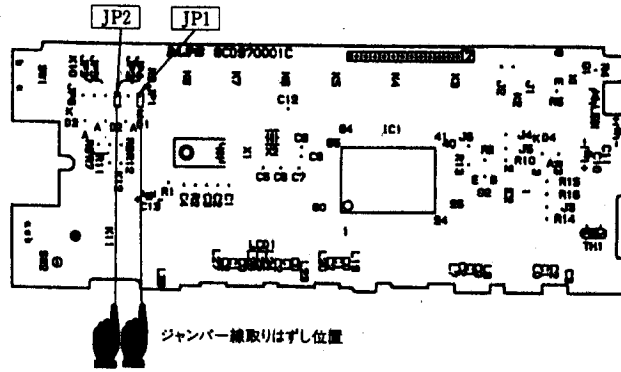
### ●室内機切換の仕方

室内機切換スイッチを細いドライバーの先などでつまみを切換えてください。

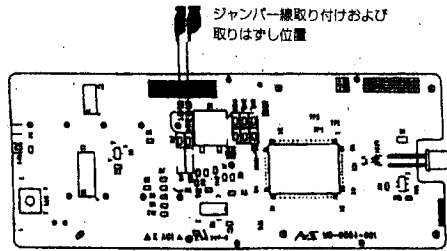


# 個別運転の改造方法

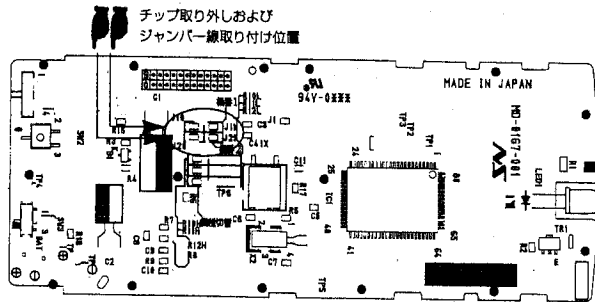
Aタイプ



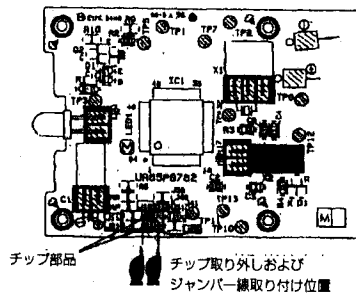
Eタイプ



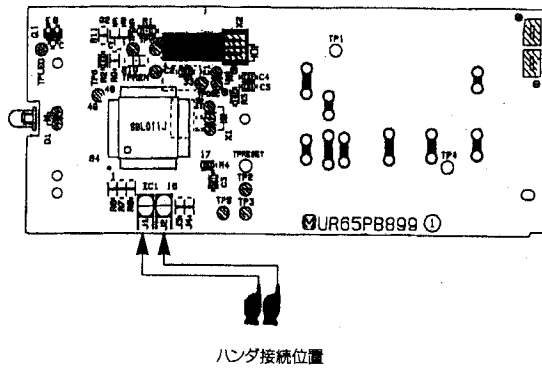
Hタイプ



Jタイプ

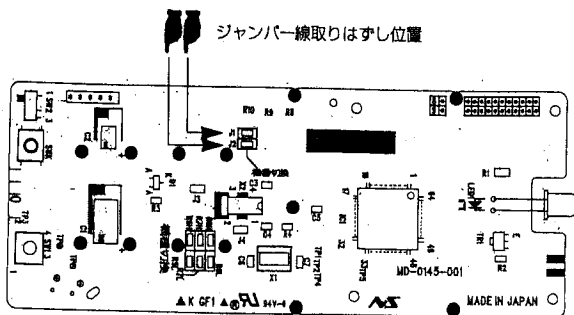


Kタイプ

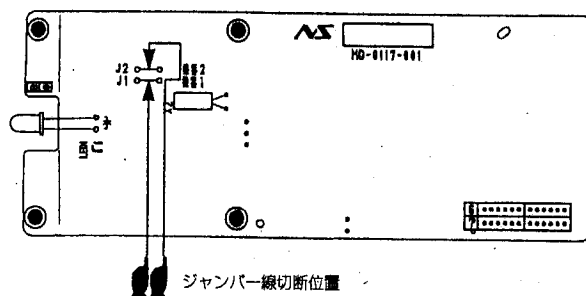


# 個別運転の改造方法

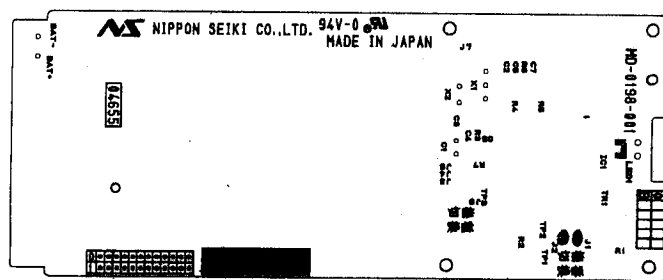
Lタイプ



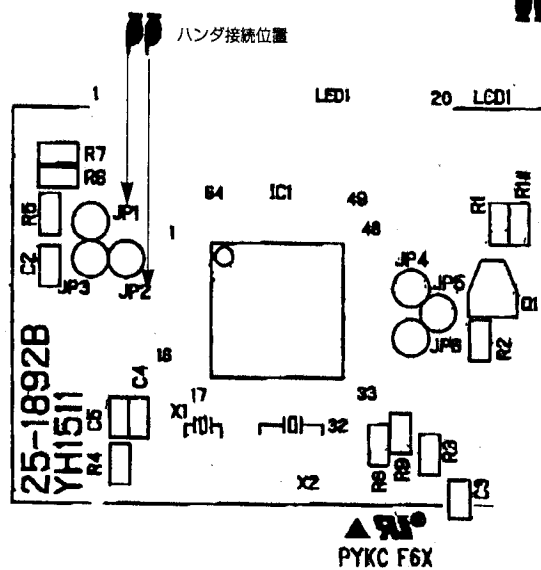
Nタイプ



Rタイプ



Sタイプ

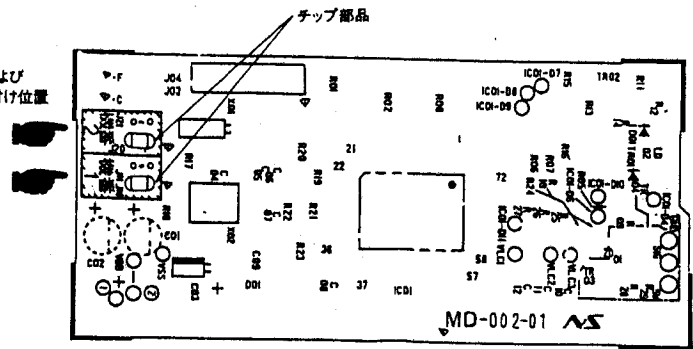




# 個別運転の改造方法

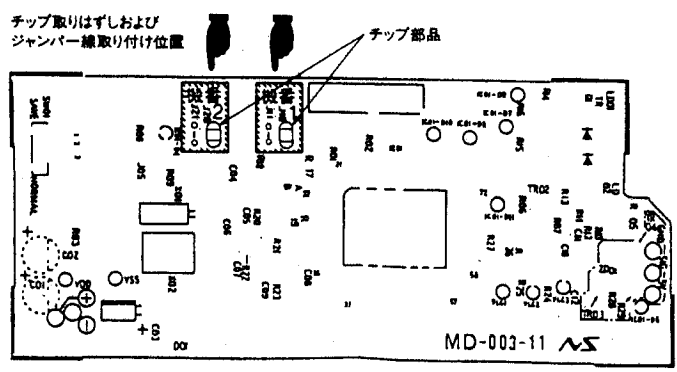
Tタイプ

チップ取りはずしおよび  
ジャンパー線取り付け位置



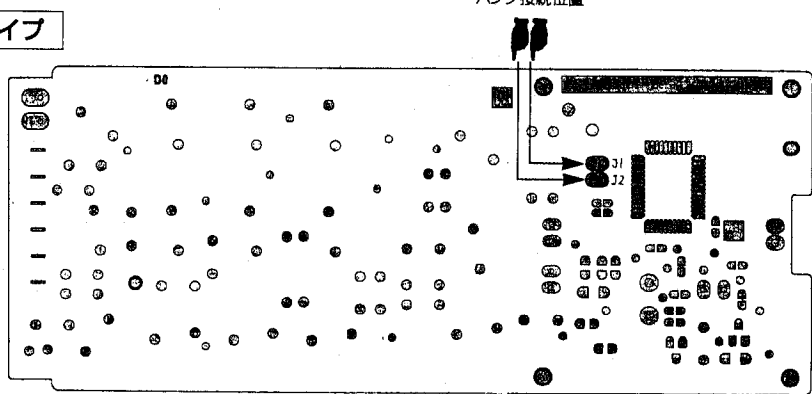
Uタイプ

チップ取りはずしおよび  
ジャンパー線取り付け位置



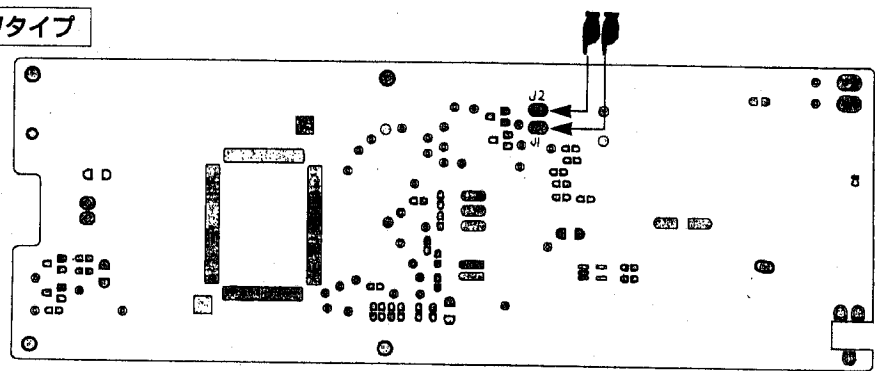
Vタイプ

ハンダ接続位置



Wタイプ

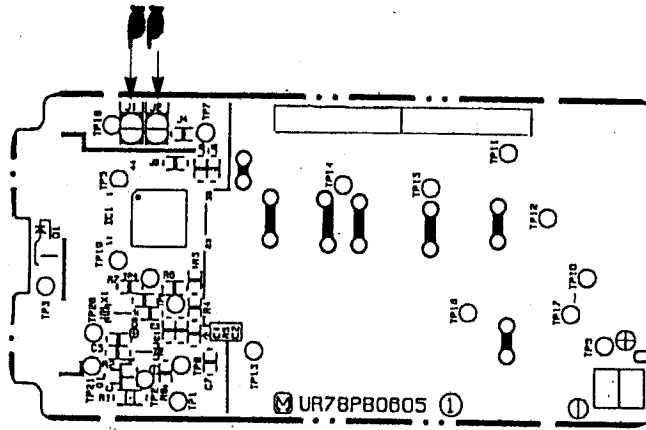
ハンダ接続位置




# 個別運転の改造方法

Xタイプ

ハンダ接続位置



### 10.3 室内制御基板の改造

- (1) 室内制御基板上に、のシルク印刷が施してあります。  
印刷位置は機種により異なります。
- (2) 出荷時の仕様は、JR05・JR06に抵抗器1kΩまたはジャンパー線が実装されています。
- (3) リモコン基板の機器に対応させ、JR05・JR06の部品を下記のように変更します。
- (4) 標準組み合わせ表（室内制御基板）

#### 改造パターン①

号機 \ 台数	1台運転	2台運転	3台運転	4台運転
1号機	改造なし 出荷仕様	←	←	←
2号機		JR06削除	←	←
3号機			JR05削除	←
4号機				JR05・JR06削除

#### 改造パターン②

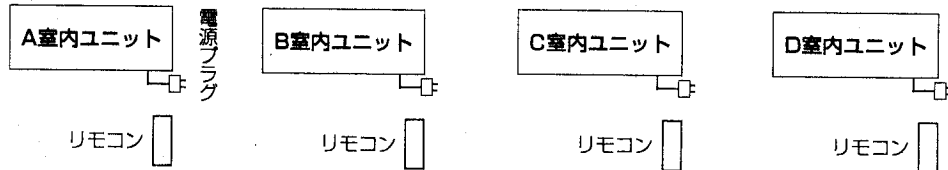
号機 \ 台数	1台運転	2台運転	3台運転	4台運転
1号機	改造なし 出荷仕様	←	←	←
2号機		JR05削除	←	←
3号機			JR06削除	←
4号機				JR05・JR06削除

### 10.4 室内ユニット指定

#### 10.4.1 グループAの場合

電源プラグをコンセントに差し込み、またはブレーカーを入としてから、1回目のリモコン受信が行われた時に、そのリモコンで設定した室内機番号を、室内ユニットの室内機番号とします。  
2回目のリモコン受信からは1回目に受信した室内機番号のリモコンのみ受け付けます。  
電源プラグをコンセントからはずすか、またはブレーカーを切にしますと設定が失われます。(停電等でも失われます。)  
電源プラグをコンセントに差し込む、またはブレーカーを入にしたときは再度設定してください。  
(電源プラグをコンセントに差し込んでから、1回目のリモコン受信はどの機番のリモコンでも受信出来ます。)  
(一度電源プラグをコンセントからはずした場合は、30秒以上過ぎてから電源プラグをコンセントに差し込んでください。)

(例) 4台各々個別運転する場合



- (1) 10.2リモコン基板の改造にしたがってリモコン基板の改造をします。
- (2) 4台とも電源プラグをはずします。
- (3) Aユニットの電源プラグをコンセントに接続します。  
Aユニットのリモコンで運転させます。
- (4) Bユニットの電源プラグをコンセントに接続します。  
Bユニットのリモコンで運転させます。
- (5) C、Dユニットについても上記(3)と同様に各々順番に行います。

以上で設定完了です。

(注意) 設定を間違えた場合は電源プラグをコンセントからはずしてやり直してください。

# 個別運転の改造方法

## 10.4.2グループBの場合

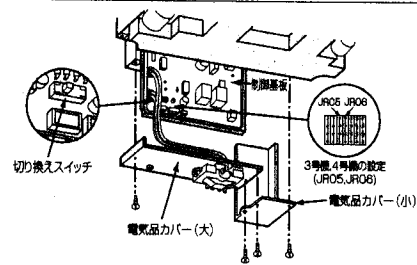
室内ユニットとリモコンのそれぞれに切換スイッチがあります。  
下記設定方法に従って双方の切換スイッチの番号を合わせてください。  
工場出荷時は室内機1側にしております。

	SW2	JR5	JR6
1号機	1側	有り	有り
2号機	2側	有り	有り
3号機	1側	有り	無し
4号機	1側	無し	無し

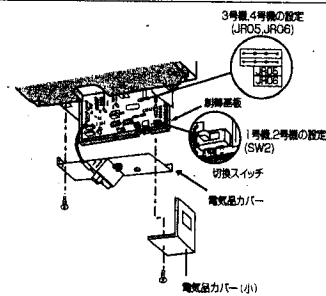
### (室内制御基板の設定)

- ①ブレーカを「切」にします。
- ②室内ユニットの電気品カバー(小)(大)をはずします。
- ③下図の位置に切換スイッチがありますので、スイッチを操作できる位置まで室内制御基板を引き下げ設定を行います。
- ④設定が終わりましたら、室内制御基板を元の位置に戻し、電気品カバー(小)(大)を取り付けてください。
- ⑤再びブレーカを「入」にします。

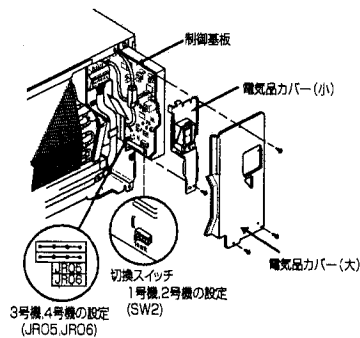
### MLZ-W40GS,W50GS,W56GS



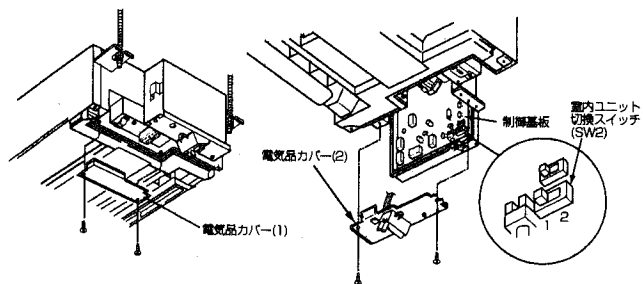
### MLZ-22GS,25GS,22FXS,25FXS



### MTZ-22GXS,25GXS,28GXS,32GXS,40GXS MTZ-22GS,25GS,28GS,32GS,40GS



### MLZ-RX28JS,RX32JS,RX40JS,RX50JS MLZ-GX28JS,GX32JS,GX40JS,GX50JS

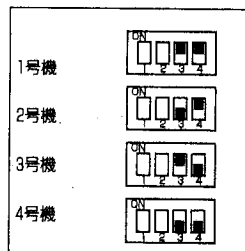


### (注) 遠隔制御用インターフェイス (MAC-374IF) 使用時の個別運転

- ・MAC-374IFが接続されても、通常と設定方法は同じです。
- ・リモコン基板の改造、室内制御基板の改造を行ってください。(43頁参照)
- ・MAC-374IFの改造は不要です。

### (注) M-NETインターフェイス使用時の個別運転 (MAC-377IF)

- ・MAC-377IFの適用機種一覧表(9頁)を参照ください。
- ・インターフェイス基板のSW502のディップスイッチの設定(下記参照)を行ってください。



- ・リモコン基板の改造、室内制御基板の改造を行ってください。(43頁参照)

## 個別運転の改造方法

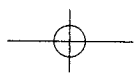
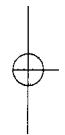
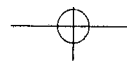
### (注) 集中コントローラー用アダプタ (MAC-835AD) 使用時の個別運転

- ・MAC-835ADの適用機種一覧表(36頁)を参照ください。
- ・アダプタ基板上的R361・R362の抵抗器が実装されています。
- ・個別運転したい台数に応じ組み合わせ表(下表参照)に従い、抵抗器をはずします。

号機 \ 台数	1台運転	2台運転	3台運転	4台運転
1号機	改造なし 出荷仕様	←	←	←
2号機		R362削除	←	←
3号機			R361削除	←
4号機				R361・R362削除

- ・リモコン基板の改造、室内制御基板の改造を行ってください。(43頁参照)





102システムコントロール  
商品技術ガイドブック

本カタログ掲載商品の価格には、消費税、配送・設置調整費・パイプ・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。  
エアコンを廃棄する場合は家電リサイクル法に基づく収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料)が必要になります。